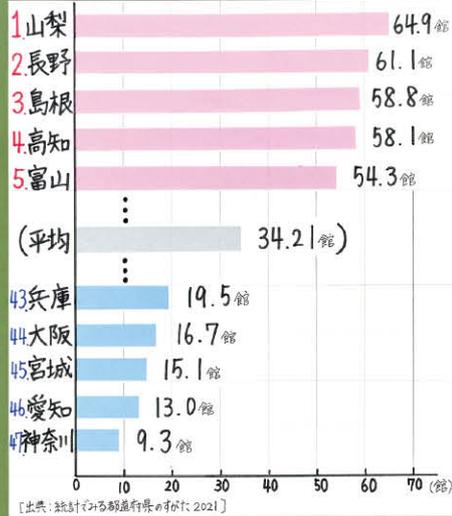


!! 統計からみたやまなし !!

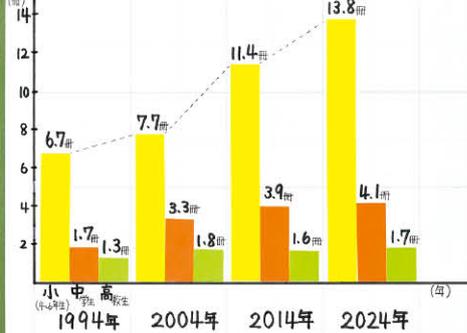
読書離れは子どもだけなのか?

★動機: ニュースで「子どもの読書離れが進んでいると耳にしました。それは本当なのか調べてみることにしました。」

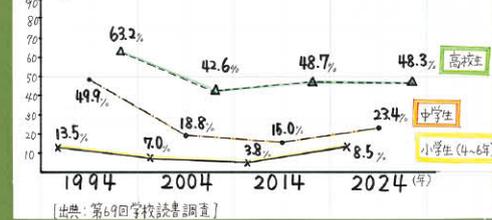
I 人口100万人あたりのベスト5 者道府県別図書館数ワースト5



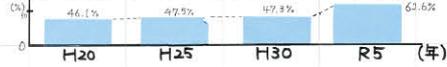
II [5月1か月間の平均読書冊数]



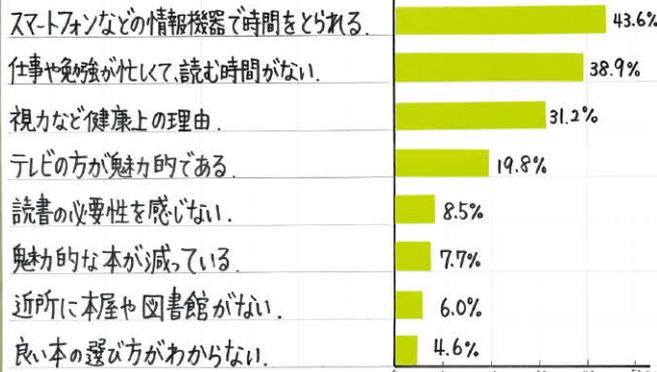
III [不読率(1か月間で読んだ本「0」の割合)]



IV [1か月に読む本の数が「0」の割合(成人)]



[読書量が減っている理由]



★わかったこと

I. 人口あたりの図書館の数は、都市部よりも田舎の県の方が上位に入っている。

II. 30年前から比較して、小中学生の読書本が2倍以上増えている。これは学校での朝読の習慣の広まりが要因といわれている。

III. 大人が1か月全く読まない人が令和になっても割合をこえている。動画サイトの普及も影響していると思われる。

★まとめ

この調べで、本離れをしているのは子どもたちではなく、むしろ大人の方だとわかった。

山梨は県をはじめ公立図書館が日本一充実している。この恵まれた環境に感謝し、勉強の気分転換に図書館を利用したい。また、読書で自分の視野を広げていきたいと思う。

スマートフォンの利用が増えていることや、書店の減少で本を手にする機会が減っていることも、読書離れの要因のひとつである。

山梨県のシンボル

県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるとい習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。昭和39年6月制定

県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(虚子)などによまれています。昭和41年9月制定

県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

山梨県ロゴマーク



YAMANASHI

目次

山梨ってどんな県? 2

グラフでみるやまなし

自然・気象 4

人口 5

経済 7

事業所 8

工業 9

商業 11

農業 12

労働 13

物価 14

家計 15

福祉・医療 16

社会生活 17

教育 18

交通・通信・エネルギー 19

観光・国際交流 20

居住環境 21

災害・事故 22

統計グラフコンクール入賞作品集 23

表紙の説明

「読書離れは子どもだけなのか？」

「第73回山梨県統計グラフコンクール」知事賞の
駿台甲府中学校1年 小野 茉里奈さんの作品です。

山梨ってどんな県？

全国順位上位3以内の主なものを
分野別に掲載しました。

文化・スポーツ

■図書館数(人口100万人当たり)



令和3年度
全国1位 65.8館

■青少年教育施設数 (人口100万人当たり)



令和3年度
全国3位 16.1所

■多目的運動広場数(公共) (人口100万人当たり)



令和3年度
全国3位 162.7施設

資料:統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

居 住

■着工新設持ち家比率 (対着工新設住宅戸数)



令和6年度
全国1位 64.7%

■大型小売店数(人口10万人当たり)

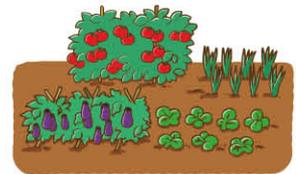


令和3年度
全国1位 17.52店

資料:統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

経済基盤

■土地生産性 (耕地面積1ヘクタール当たり)



令和5年度
全国2位 516.0万円

資料:統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

安 全

■火災保険住宅物件・一般物件新契約件数 (一般世帯千世帯当たり)



令和5年度
全国3位 342.9件

資料:統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

労 働

■高齢就業者割合 (65歳以上)(対65歳以上人口)



令和2年度
全国2位 29.8%

資料:統計でみる都道府県のすがた2026(総務省統計局)

健康・医療

■健康寿命



令和4年
男性**全国3位** 73.47年
女性**全国4位(参考)** 76.16年

資料:第4回健康日本21(第三次)推進専門委員会

農 業

■ぶどう収穫量(年間)



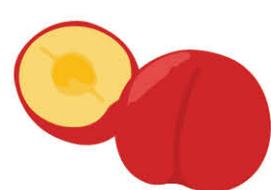
令和6年
全国1位 43,600t

■もも収穫量(年間)



令和6年
全国1位 31,500t

■すもも収穫量(年間)



令和6年
全国1位 5,090t

資料:作物統計調査(農林水産省)

農業

■農産物販売金額1位の部門別
農業経営体数構成比(果樹類)



令和2年
全国1位 67.7%

資料:農林業センサス(農林水産省)

工業

■ワイナリー数



令和6年
全国1位 89事業所

資料:酒類製造業及び酒類卸売業の概況(国税庁)

■製成数量
日本ワイン



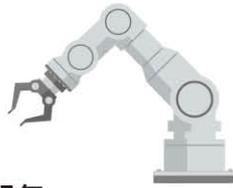
令和5年度
全国1位 4,278kl

■出荷額(年間)
ミネラルウォーター



令和5年
全国1位 585億円

■出荷額(年間)
数値制御ロボット



令和5年
全国1位 2,208億円

■事業所数
貴金属・宝石製装身具製品製造業



令和6年
全国1位 143事業所

資料:2024年経済構造実態調査製造業事業所調査(総務省・経済産業省)

家計

■支出金額(1世帯当たり年間)
ぶどう



令和4年～令和6年平均
全国1位 7,301円

■支出金額(1世帯当たり年間)
あさり



令和4年～令和6年平均
全国1位 714円

■支出金額(1世帯当たり年間)
干しあじ



令和4年～令和6年平均
全国1位 1,127円

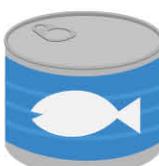
資料:家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

■支出金額(1世帯当たり年間)
まぐろ



令和4年～令和6年平均
全国2位 8,496円

■支出金額(1世帯当たり年間)
他の魚介加工品



令和4年～令和6年平均
全国2位 15,017円

資料:家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

社会生活

■1日の食事時間

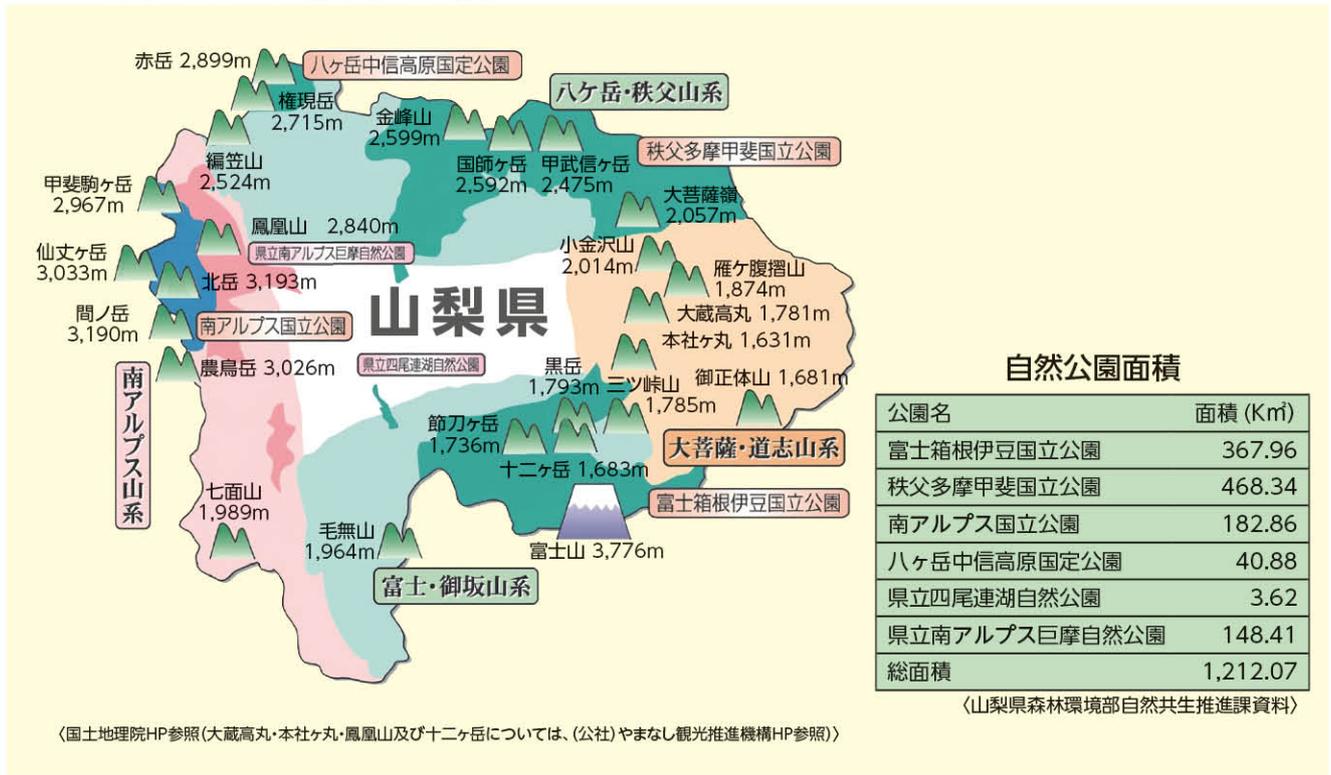


令和3年
全国1位 1時間45分

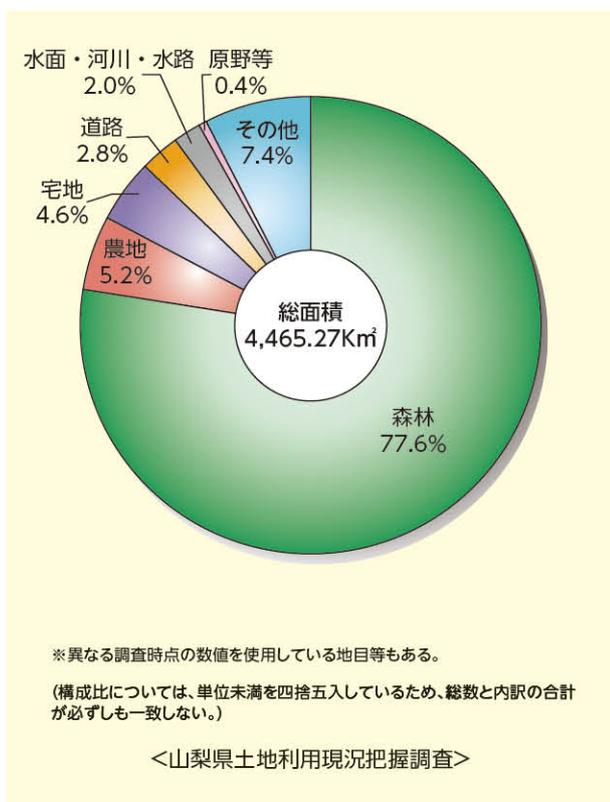
資料:令和3年 社会生活基本調査(総務省統計局)

グラフでみるやまなし 自然・気象

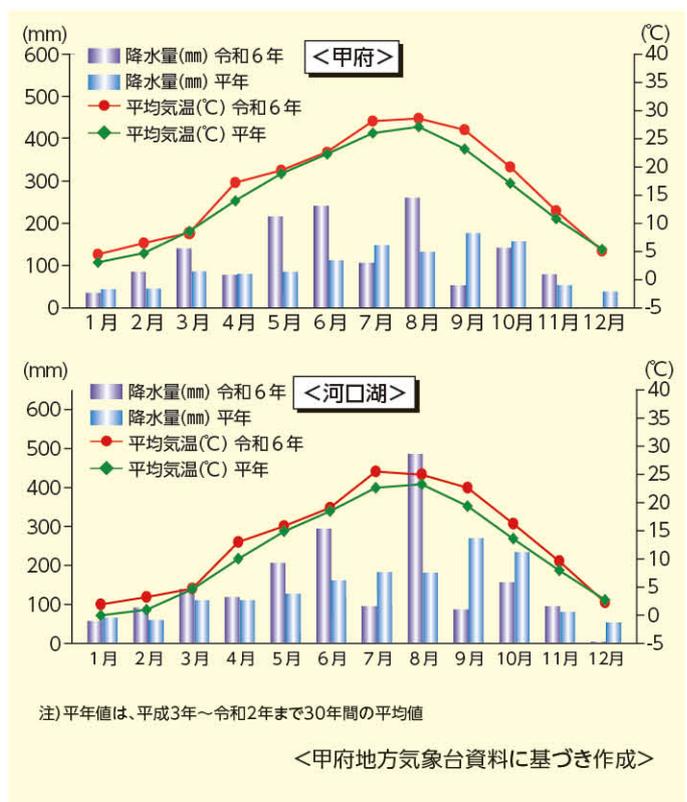
主な山梨百名山・自然公園面積



山梨県土地利用状況(令和6年10月1日)



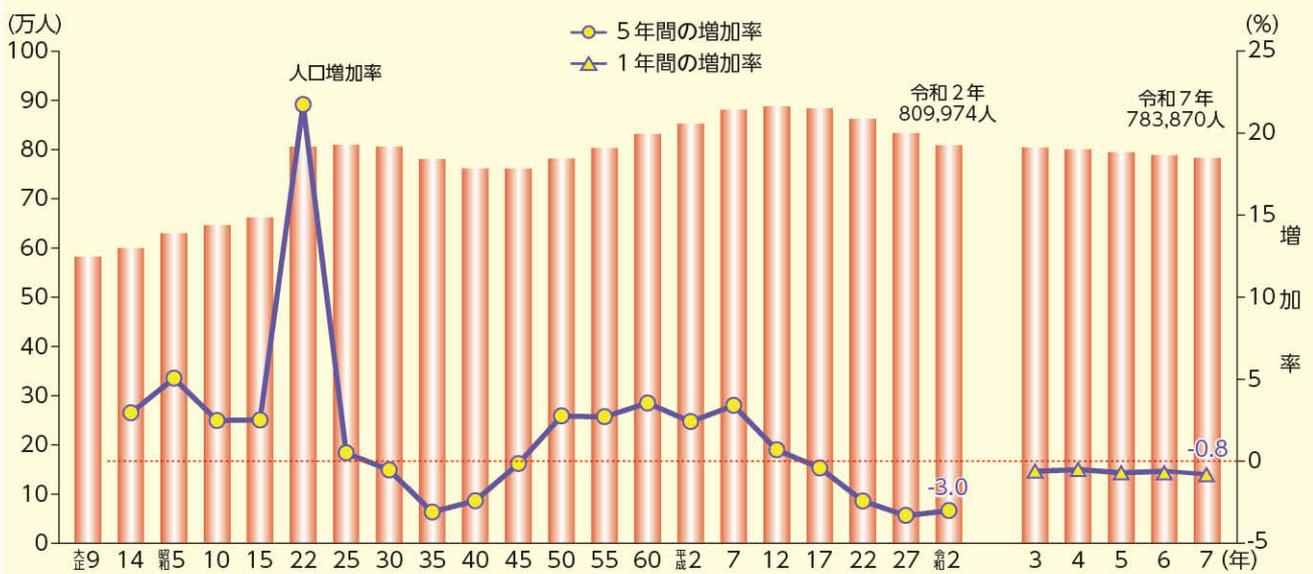
月別平均気温と降水量(令和6年)



本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

人口

本県人口及び人口増加率の推移(大正9年～令和7年) (人口は各年10月1日現在)

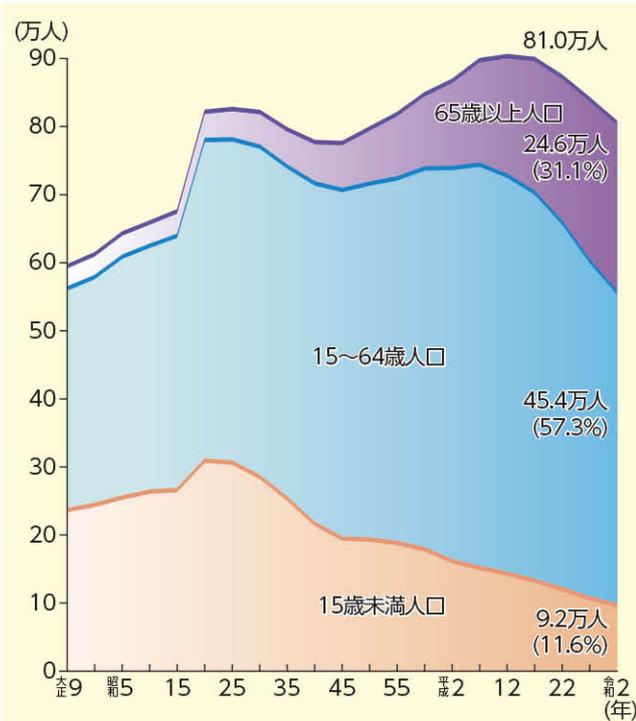


初めての国勢調査が行われた大正9年の人口は583,453人でしたが、以後増加を続け、昭和22年には807,251人と初めて80万人を記録。その後減少したものの、昭和50年からは増加に転じ、平成12年に888,172人と最多となりました。しかし、平成17年には再び減少に転じました。

注)人口増加率は大正9年～令和2年は5年間の数値、令和3年～令和7年は1年間の数値。そのため令和2年と令和3年は接続しない。

<大正9年～令和2年は総務省「国勢調査」、令和3年～令和7年は「山梨県常住人口調査」>

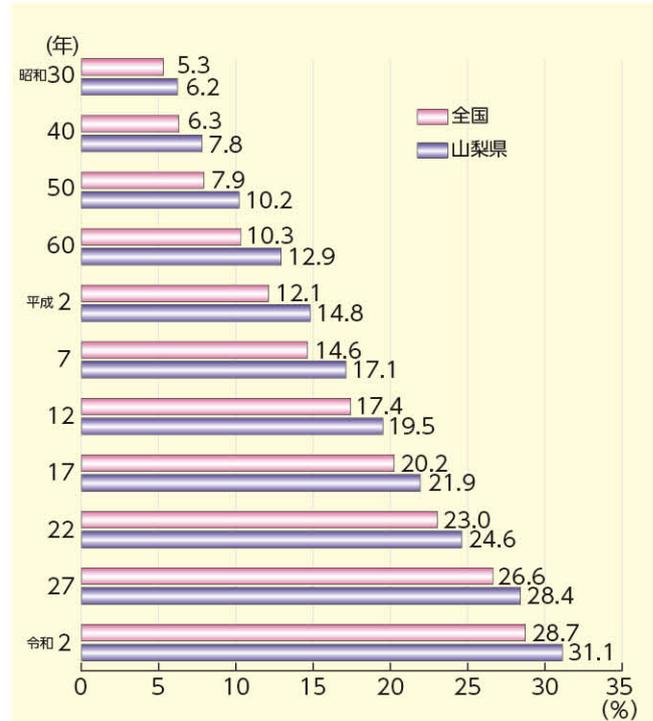
年齢別人口の推移(大正9年～令和2年)



注)総数には年齢不詳を含む。

<総務省「国勢調査」>

本県と全国の65歳以上人口割合の推移(昭和30年～令和2年)

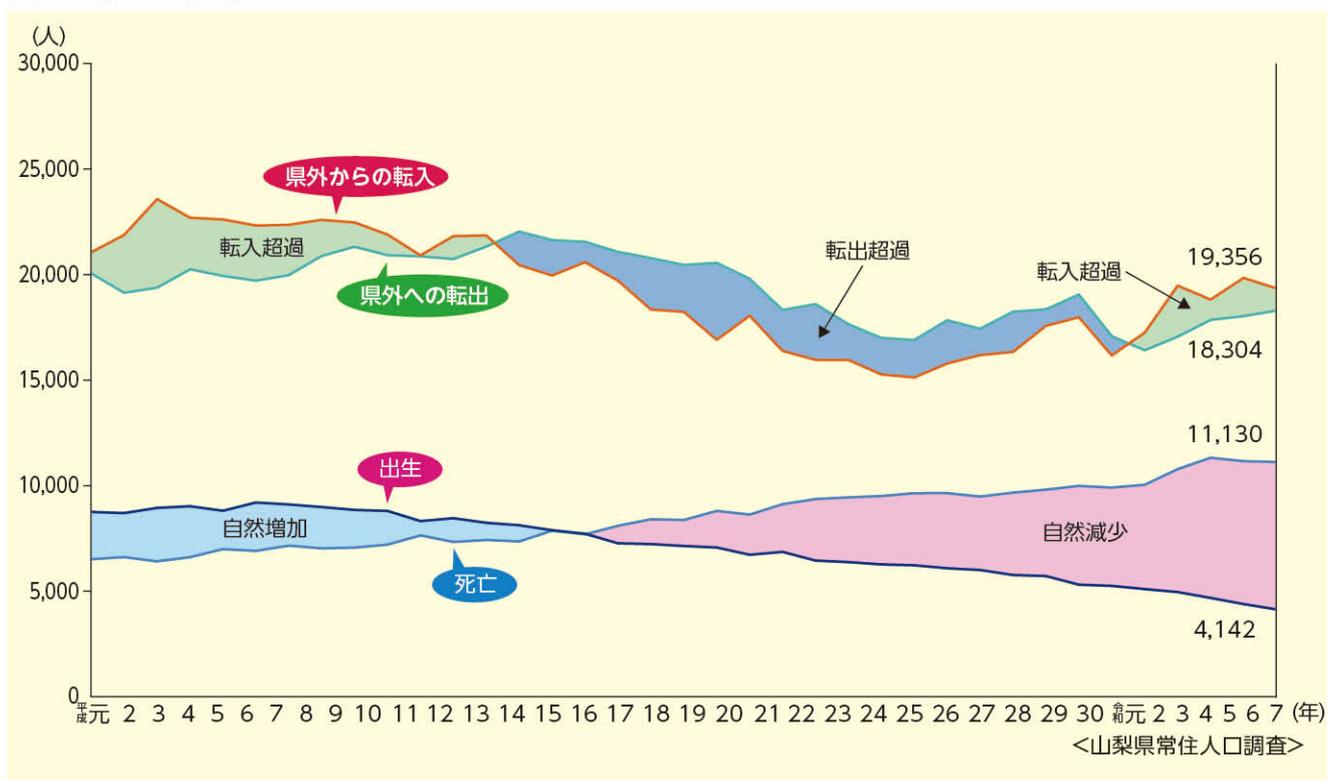


<総務省「国勢調査」>

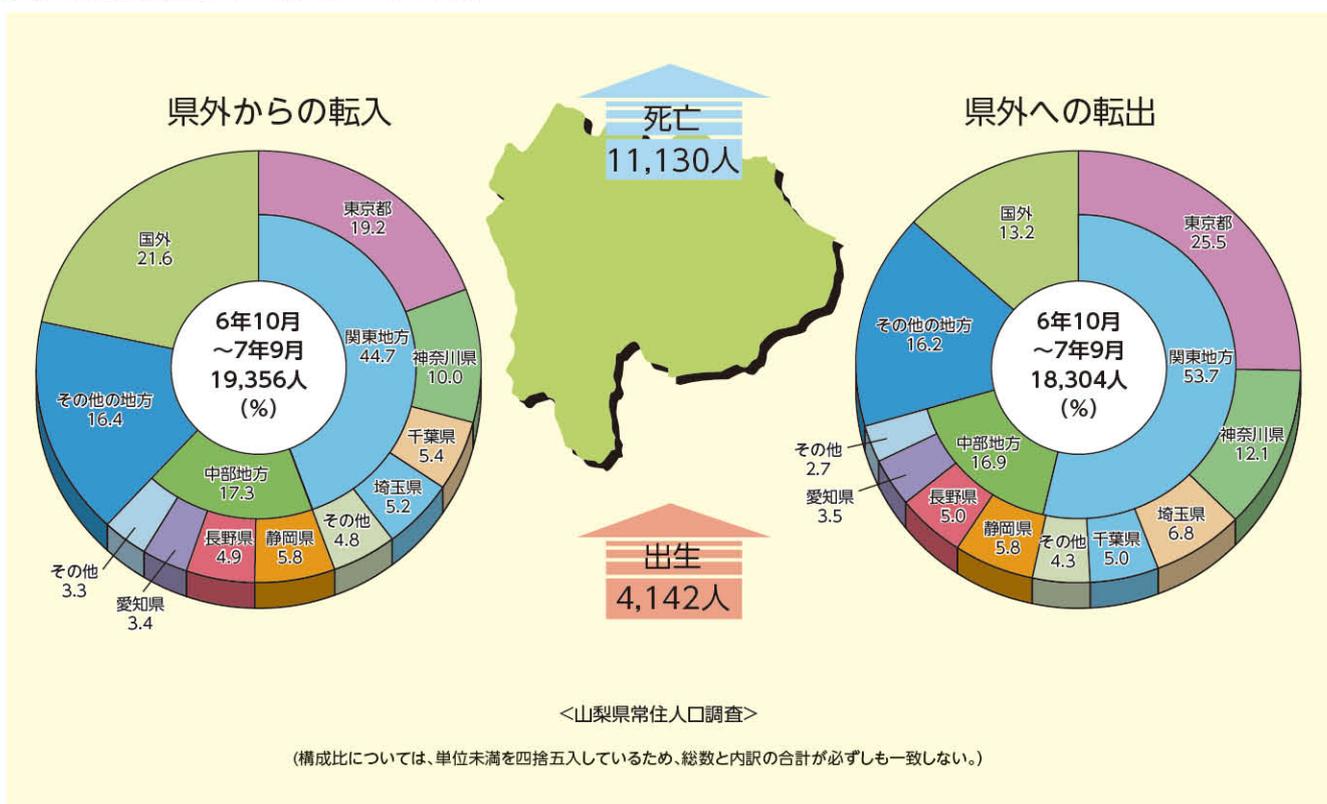
令和7年10月1日現在の人口は、78万3,870人となっています。

令和2年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.2万人(11.6%)、15歳～64歳人口45.4万人(57.3%)、65歳以上人口24.6万人(31.1%)となっています。本県の65歳以上人口は、平成7年以降は15歳未満人口を上回ることとなり、令和2年では本県人口の4分の1を超えています。また、本県の65歳以上人口割合は、全国を上回る水準で推移しています。

人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)



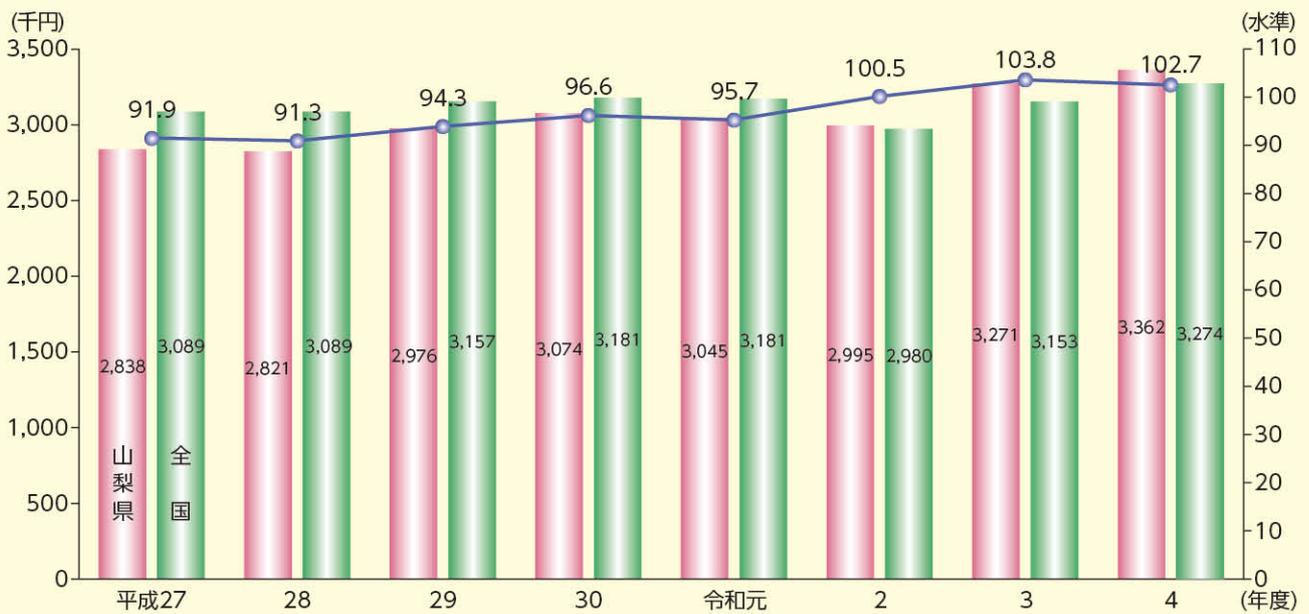
人口動態 (令和6年10月1日～7年9月末)



令和6年10月1日から令和7年9月30日までの人口の動きをみると、出生4,142人、死亡11,130人で、6,988人の自然減となっています。また、県外からの転入者は19,356人、転出者は18,304人で、1,052人の転入超過となっています。また、東京都、神奈川県の転入、転出が多くなっています。

経 済

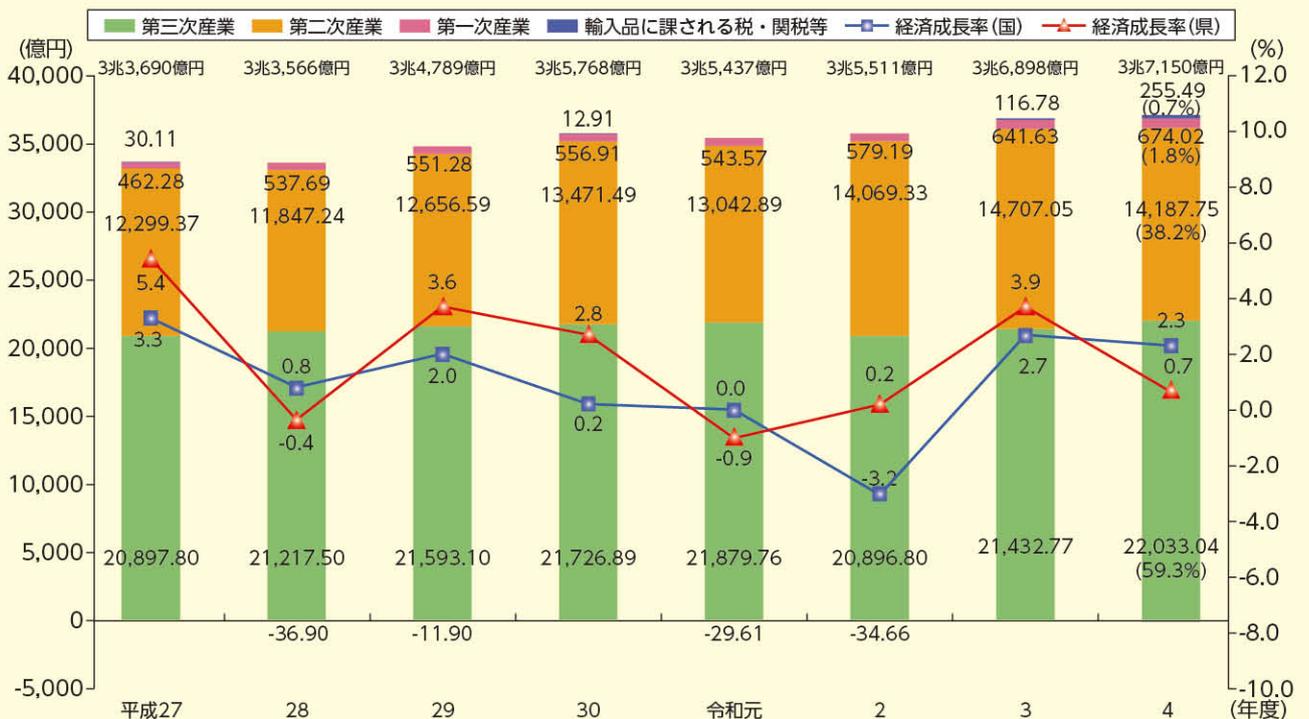
1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移



注)1人当たり県民所得は、「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものです。したがって個人の給与や実収入額などとの比較はできません。折れ線グラフは1人当たり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移です。

〈令和4年度県民経済計算〉

県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)

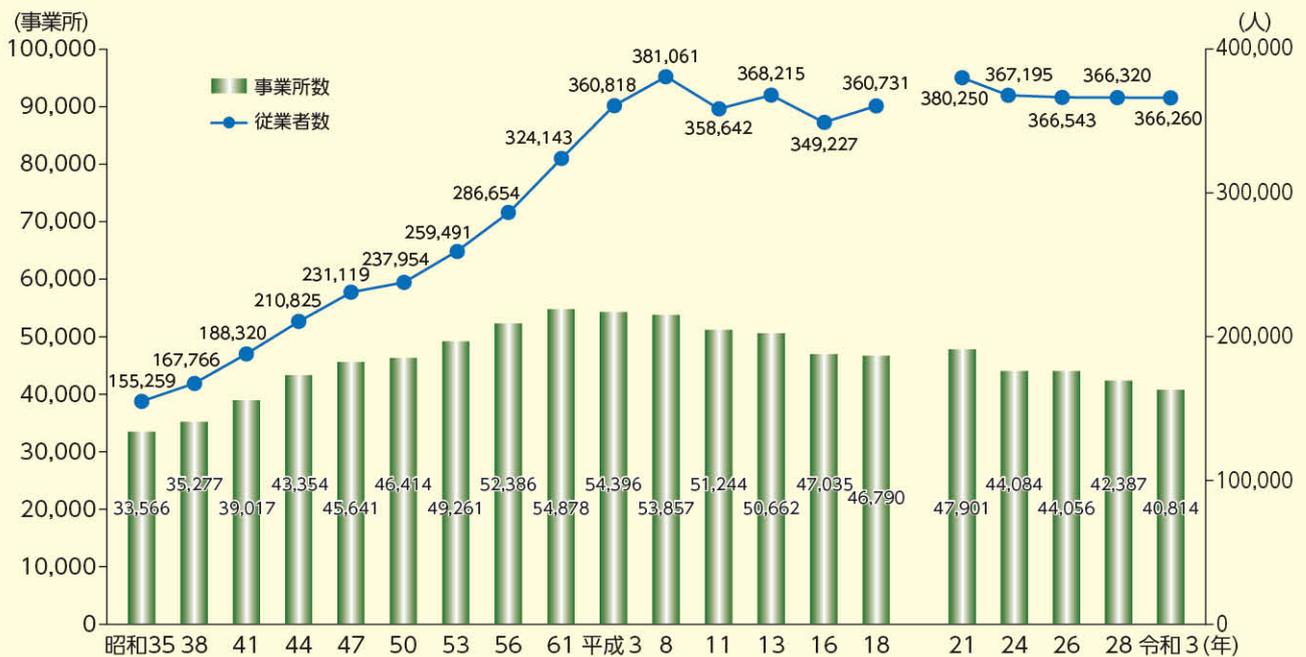


〈令和4年度県民経済計算〉

令和4年度の県内総生産は、名目で3兆7,150億円で、前年度に比べて0.7%(252億円)の増加となりました。

1人当たり県民所得は3,362千円で、前年度に比べ9万1千円増加しました。また、1人当たり国民所得3,274千円を100とした水準は102.7となり、前年度に比べて1.1ポイント減少しました。

民営事業所数及び従業者数の推移



注) 事業内容等不詳事業所を除く。
平成21年において、調査手法の変更があったため、平成18年と平成21年は接続しない。

〈総務省「事業所・企業統計調査」〉
〈平成21年から「経済センサス」〉

産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移

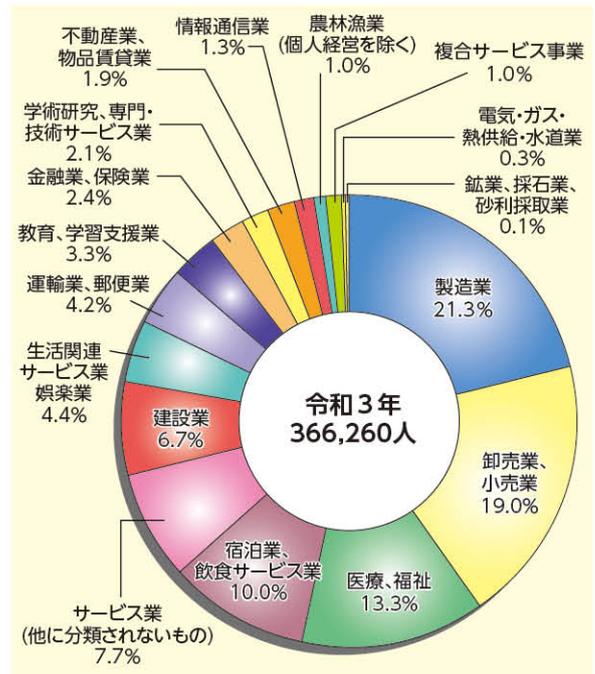


(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

注) 分類不能の産業を除く。昭和25年には、14歳就業者を含む。

〈総務省「国勢調査」〉

産業別従業者数構成比



(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

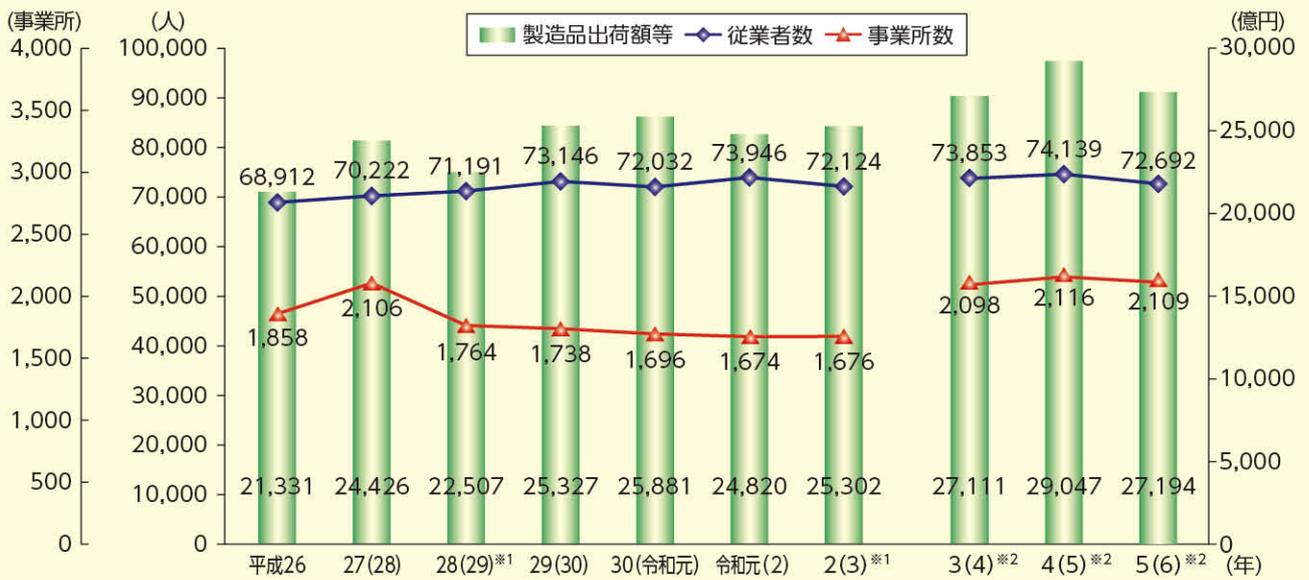
〈総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」〉

令和3年の事業所数は40,814事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.3%、卸売業、小売業19.0%、医療、福祉13.3%の順となっています。

本県の産業別就業者数をみると、昭和25年は、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、令和2年は、第1次産業は6.7%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から65.2%へと増加しています。

工業

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



注) 27(28)以降の事業所数・従業者数については、()内の年次の数値である。

*1印については「経済センサス-活動調査」、*2印については「経済構造実態調査製造業事業所調査」の数値である。

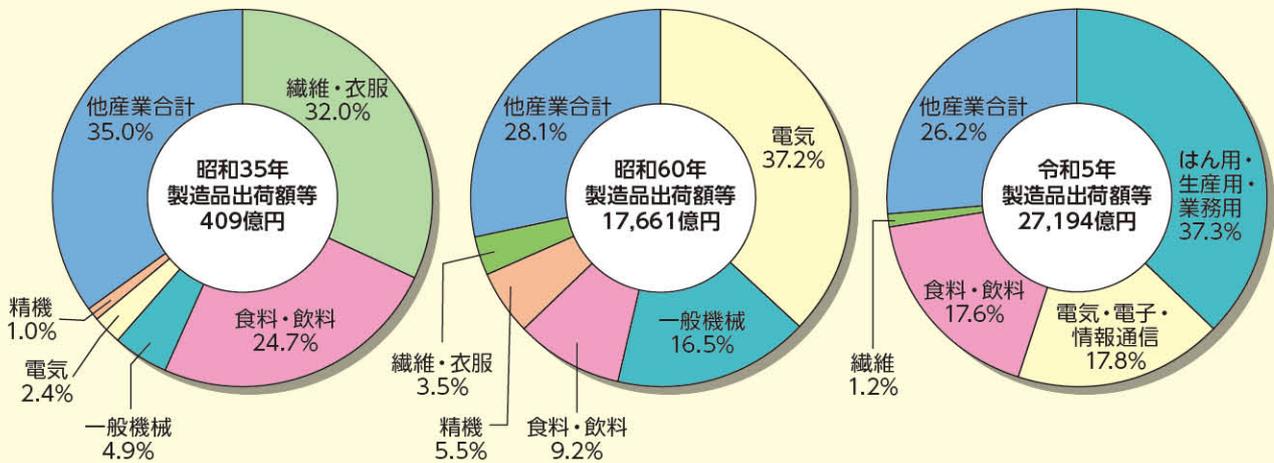
「工業統計調査」、「経済センサス-活動調査」は従業者4人以上の事業所、「経済構造実態調査製造業事業所調査」は個人経営以外の全ての事業所を調査対象としているため、令和2年と令和3年は接続しない。

<経済産業省「工業統計調査」>

<総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

<総務省・経済産業省「経済構造実態調査製造業事業所調査」>

産業別製造品出荷額等の構成の変化



注1) 平成14年3月の産業分類改定の主な内容として、「電気機械」は「電気機械」、「電子部品・デバイス」及び「情報通信機械」に分割された。

注2) 平成19年11月の産業分類改定の主な内容として、「一般機械」が「はん用機械」、「生産用機械」及び「業務用機械」に分割されるとともに、「精密機械」は「業務用機械」と「その他」に分割された。

注3) 昭和35年、60年の「工業統計調査」は従業者4人以上の事業所、令和5年の「経済構造実態調査製造業事業所調査」は個人経営以外の全ての事業所を調査対象としている。

(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

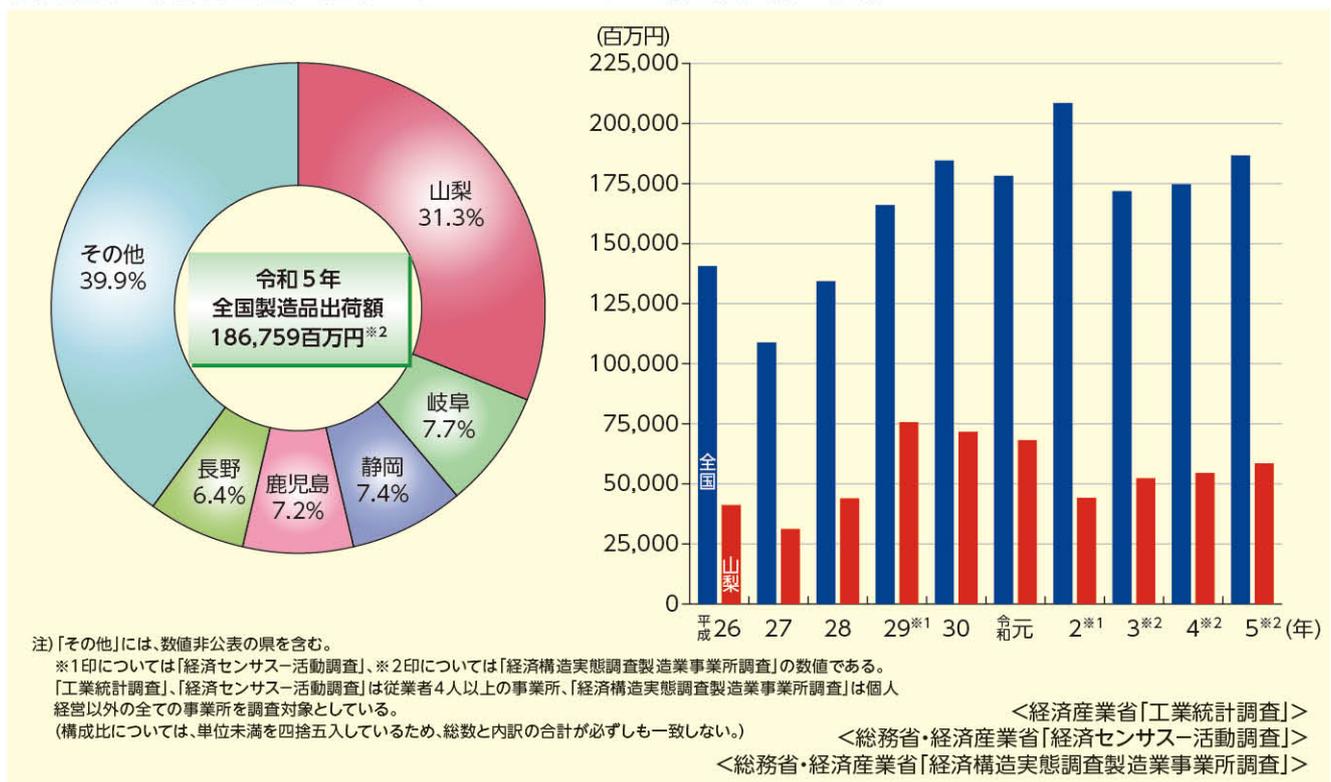
<経済産業省「工業統計調査」>

<総務省・経済産業省「経済構造実態調査製造業事業所調査」>

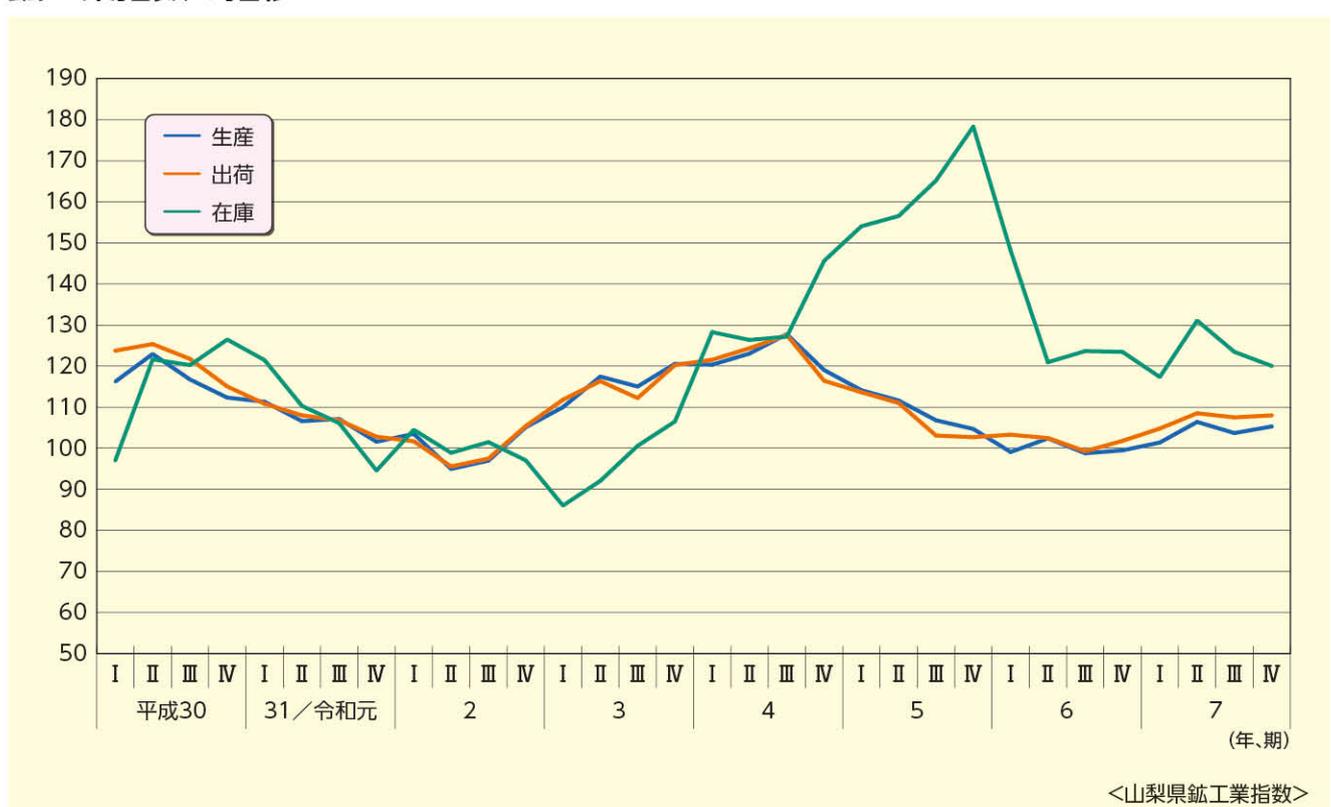
令和6年の個人経営以外の製造業の事業所数は2,109事業所、従業者数は72,692人で、令和5年一年間の製造品出荷額等は2兆7,194億円となりました。

産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。令和5年は、はん用・生産用・業務用と電気・電子・情報通信の合計が全体の半数以上を占めています。

製造品出荷額全国1位「ミネラルウォーター」出荷額の推移



鉱工業指数の推移(令和2年=100 季節調整済)

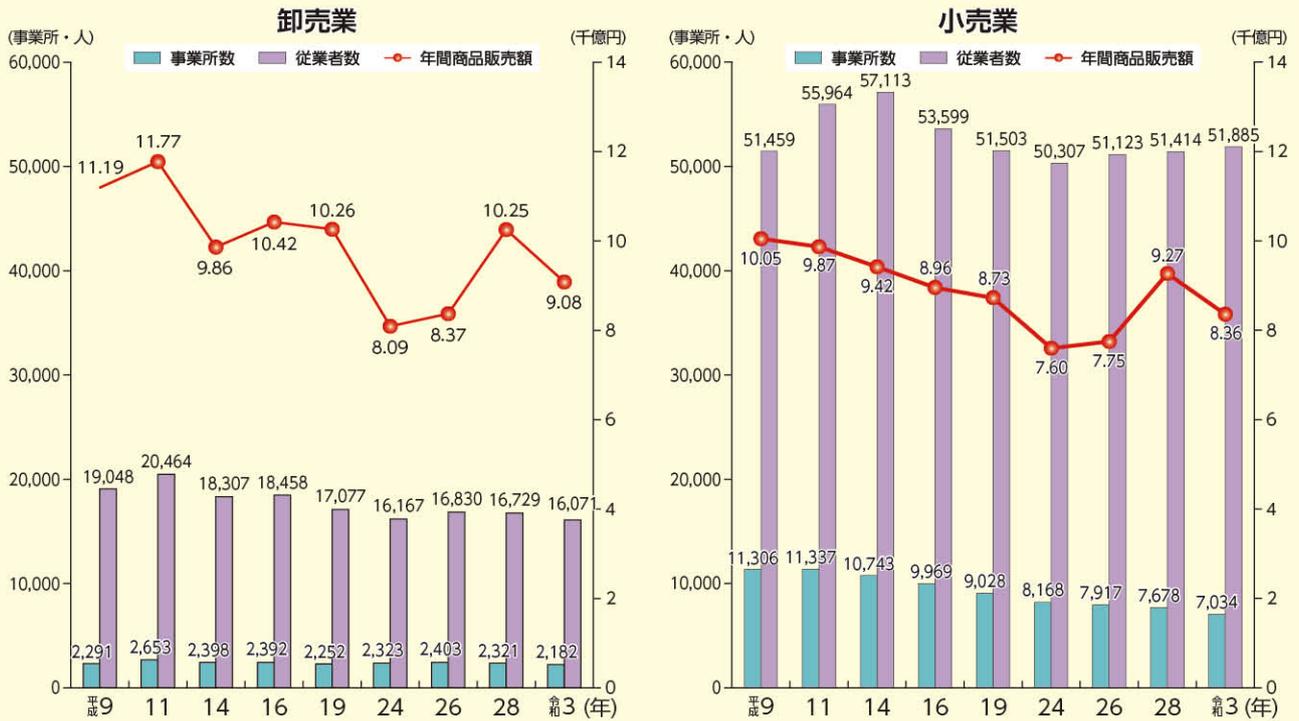


令和5年の品目別製造品出荷額では、「ミネラルウォーター」は585億円で、全国の出荷額の31.3%を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成30年Ⅱ期から低下傾向となり、令和2年Ⅱ期を境に上昇に転じましたが、令和4年Ⅲ期をピークに再び低下傾向にあります。

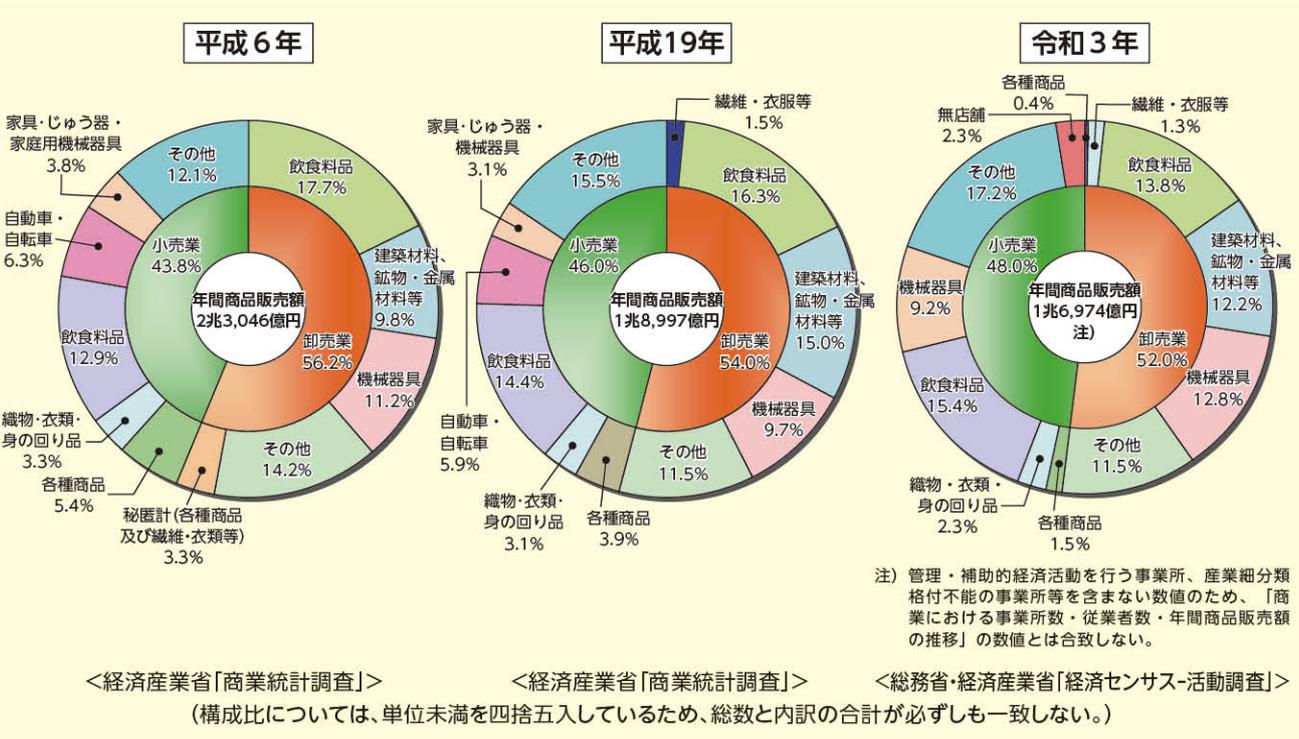
商業

商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



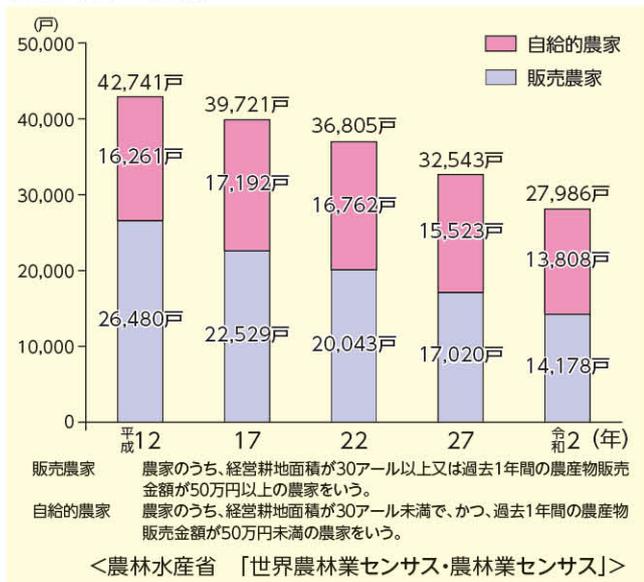
注) 平成19年以前及び平成26年の数値は商業統計調査、平成24年、28年及び令和3年の数値は経済センサス-活動調査の数値である。
 平成24年、26年、28年及び令和3年の数値は、管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類の格付不能の事業所等を含む。 <経済産業省「商業統計調査」>
 年間商品販売額については、単位未満を四捨五入しているため、コメント欄の数値とは必ずしも一致しない。 <総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

業種別年間商品販売額構成比の推移

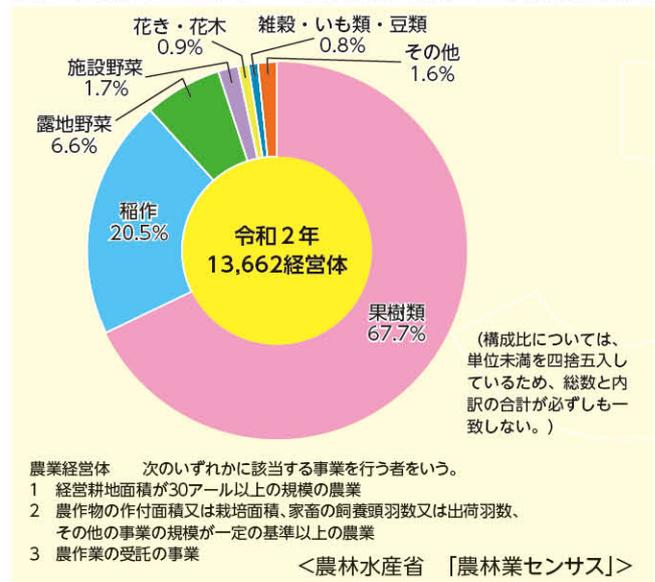


令和3年の卸・小売業数は9,216事業所、従業者数は67,956人、年間商品販売額は1兆7,434億円となっています。
 業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。令和3年では無店舗小売業が2.3%となっています。

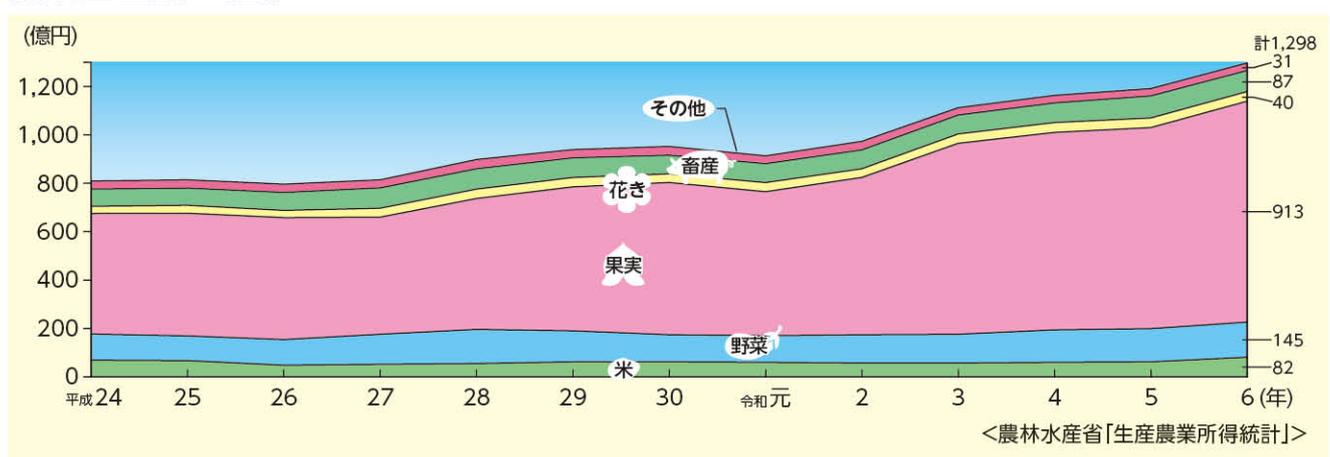
農家数の推移



農産物販売金額1位の部門別農業経営体数構成比



農業産出額の推移



ぶどう・もも・すももの収穫量(令和6年)

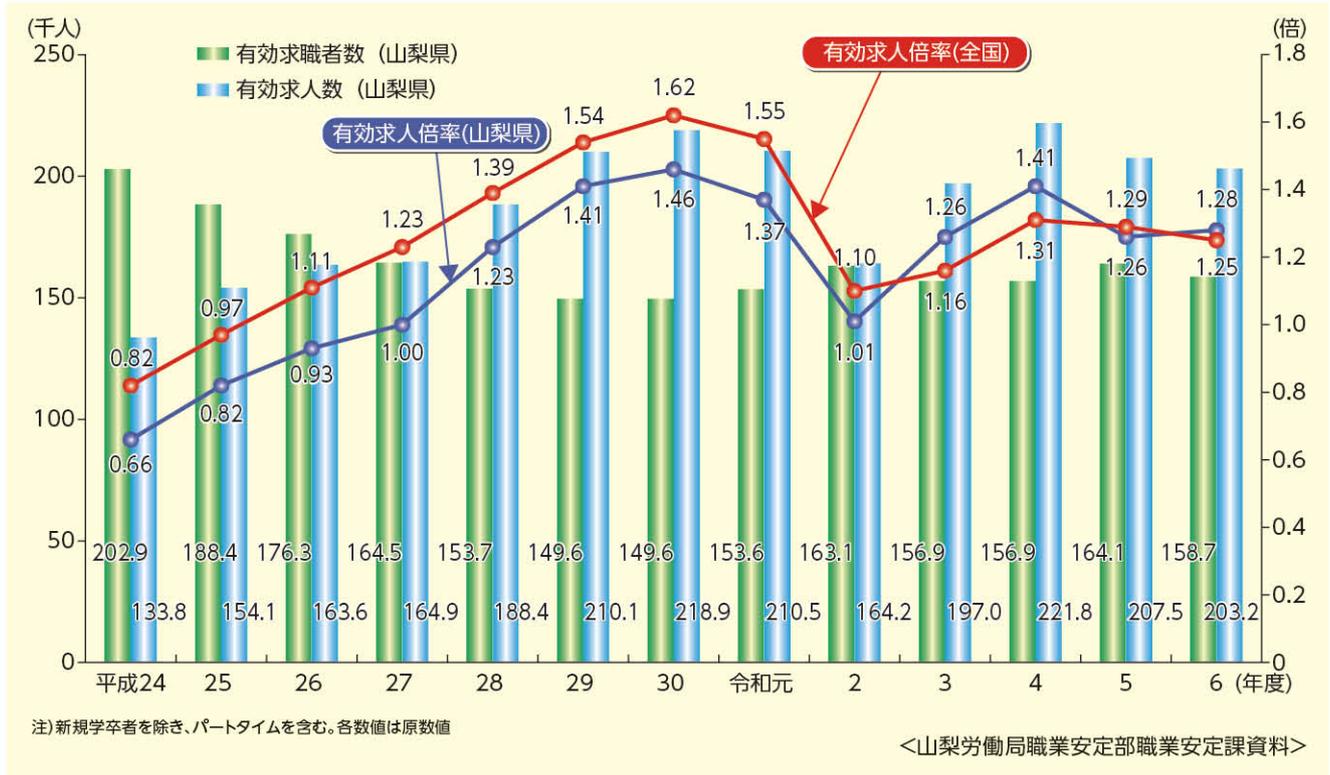


令和2年の本県の農家数は、27,986戸で、平成27年と比べ4,557戸減少しています。また、農産物販売金額1位の部門別経営体数構成比をみると、果樹類が67.7%、稲作20.5%、露地野菜6.6%の順となっています。

令和6年の農業産出額(1,298億円)の割合は、果実が全体の70.3%を占め、次いで野菜11.2%、畜産6.7%、米6.3%、花き3.1%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

労働

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



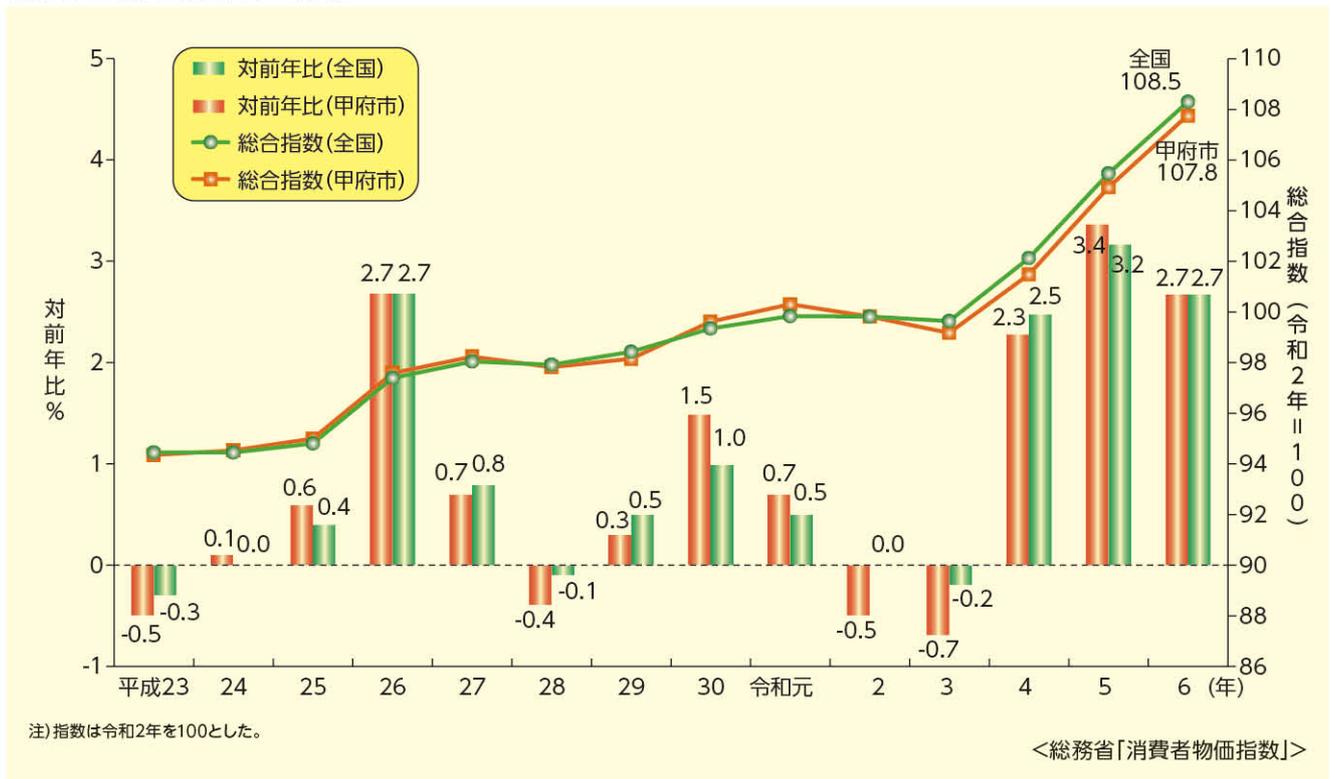
労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移 (30人以上の事業所)



令和6年度の有効求職者数は、15万8,731人で、前年に比べて5,324人(3.2%)減少、有効求人数は、20万3,152人で、前年に比べて4,299人(2.1%)減少、有効求人倍率は1.28倍で、前年に比べて0.02ポイントの上昇となりました。

令和6年の労働時間は、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間139.4時間で、全国平均の142.8時間を3.4時間下回っています。また、月間現金給与総額は、335,613円で全国平均の397,789円を62,176円下回っています。

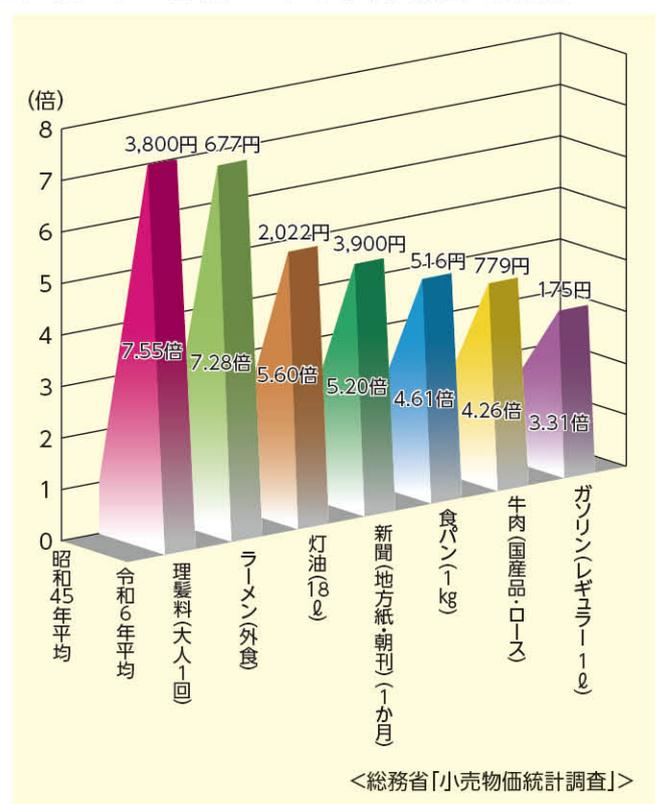
消費者物価指数の推移(各年平均)



消費者物価地域差指数(令和6年平均)



令和6年と昭和45年の小売物価の比較(甲府市)

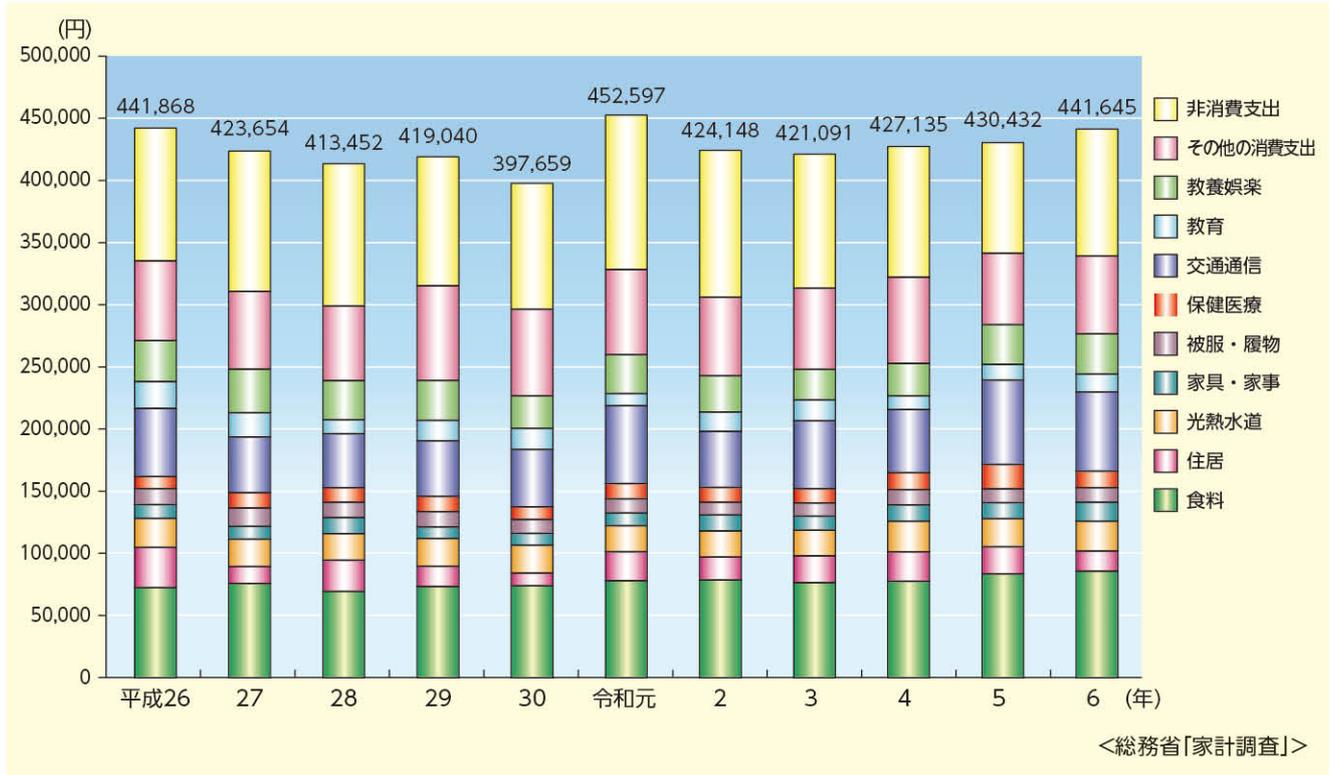


令和6年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、107.8(令和2年=100)となり、前年比2.8%の上昇となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は98.9(全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ6ポイント低くなっています。

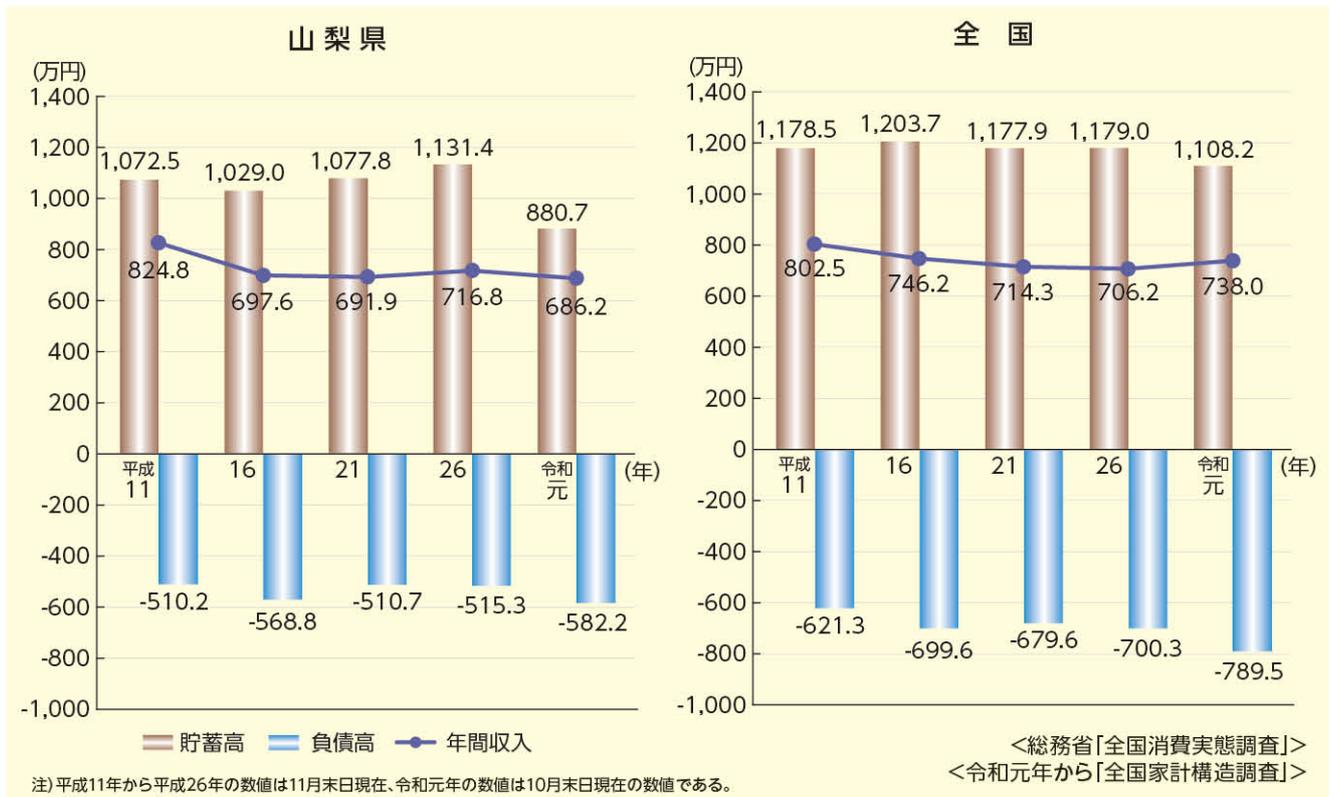
令和6年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.55倍、ラーメン(外食)は7.28倍、灯油(18ℓ)は5.6倍などとなっています。

家計

勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)



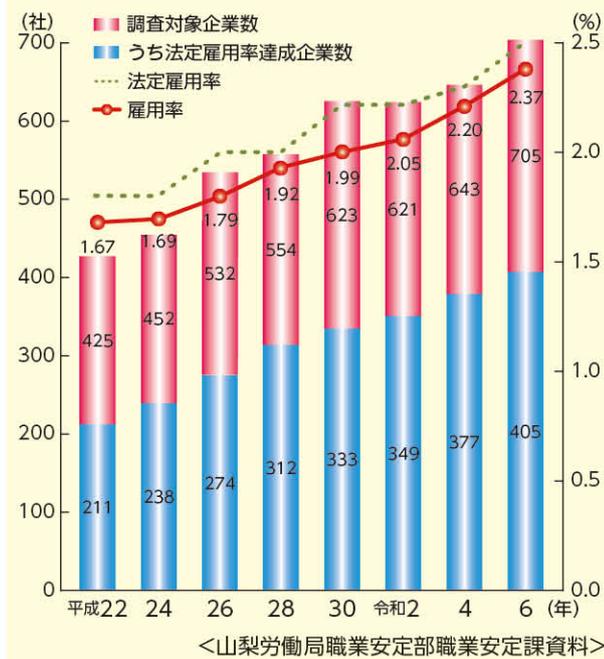
勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移



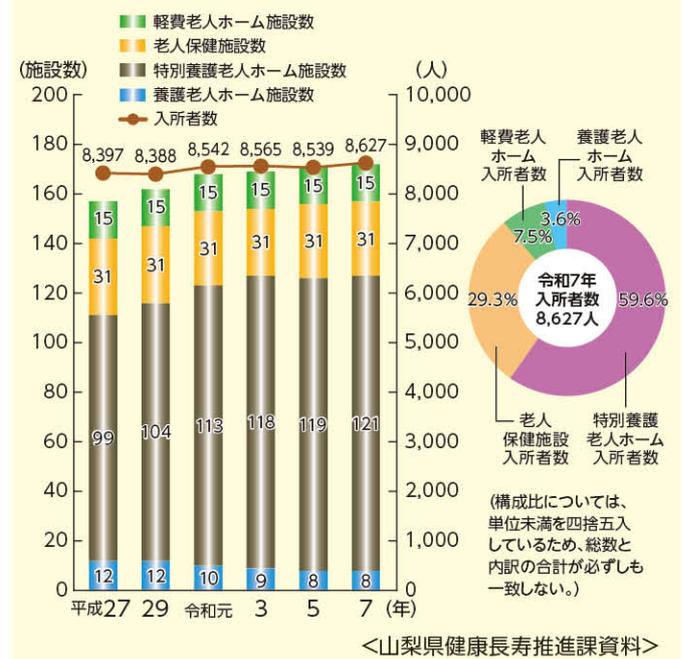
令和6年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は441,645円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が23.1%(101,904円)、消費支出は全体の76.9%(339,741円)となっています。

令和元年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は880万7千円、負債現在高は582万2千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業)(各年6月1日現在)

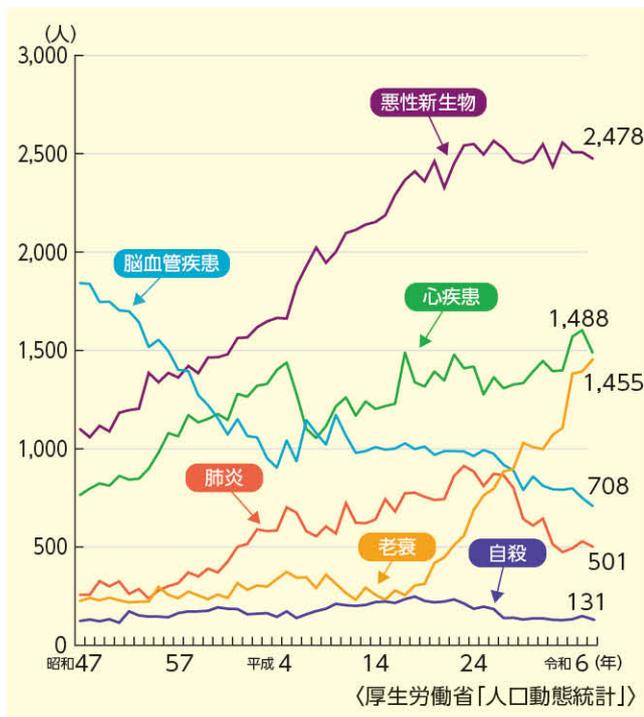


老人関係施設入所者数の推移(各年8月1日現在)

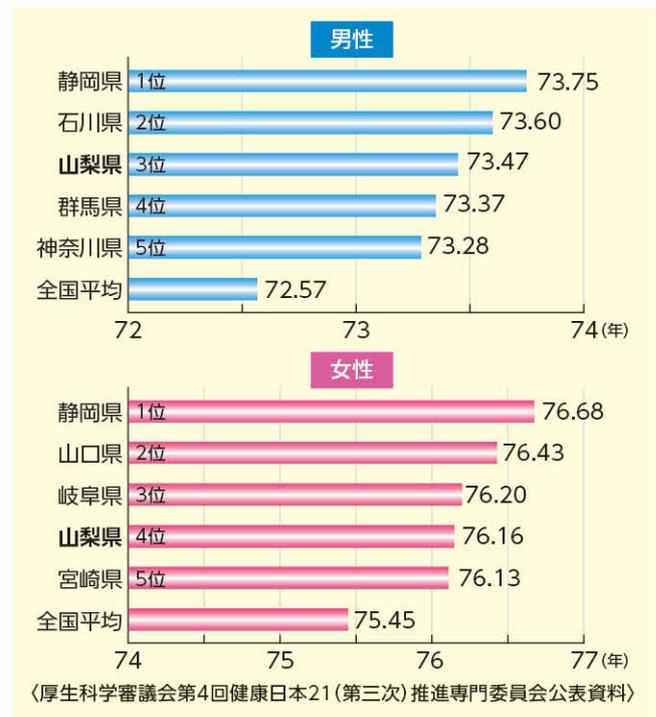


本県の障害者雇用率は令和6年6月1日現在2.37%であり、法定雇用率の2.5%を0.13ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は405社で、達成率は57.4%となっています。令和7年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,627人で、2年前より88人(1.0%)増加しています。また、施設数は175施設で、平成27年と比べると18施設(11.5%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



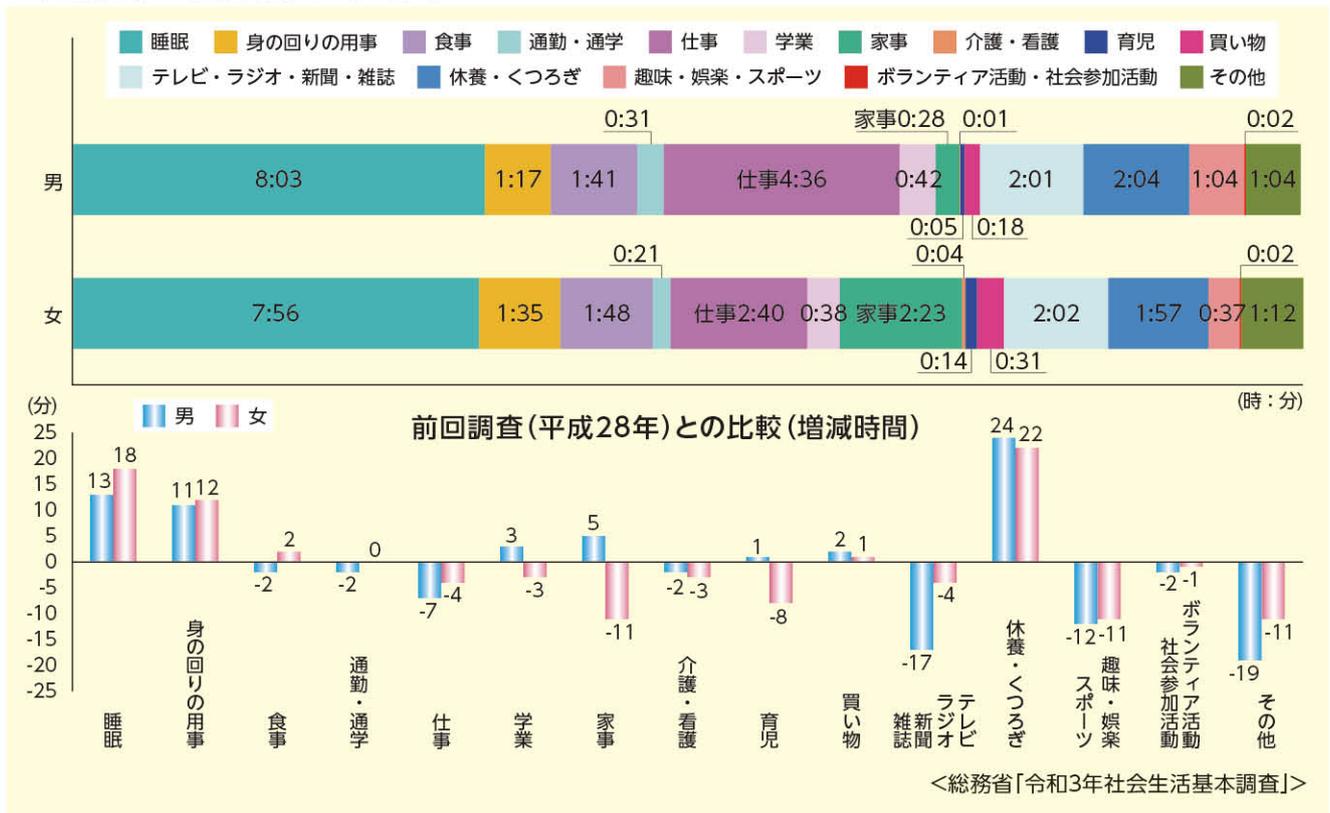
健康寿命(令和4年)



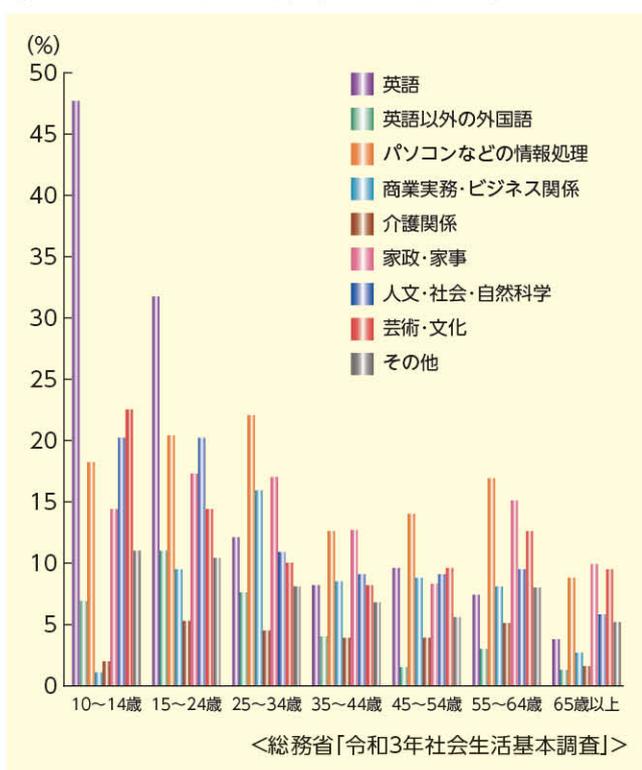
令和6年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。本県の健康寿命は、男性73.47年で全国平均72.57年を上回り全国第3位、女性76.16年で全国平均75.45年を上回り全国第4位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

社会生活

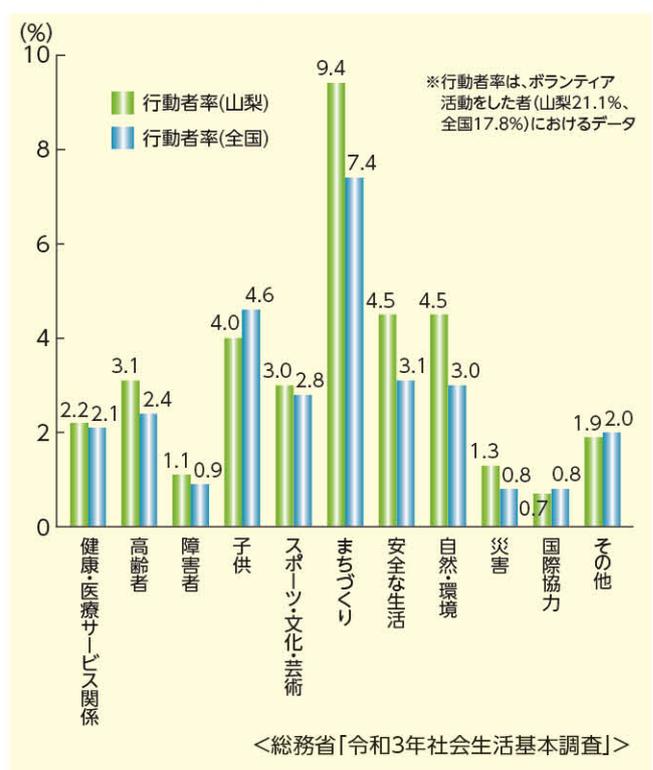
生活行動の種類別平均時間



学習・自己啓発・訓練の行動者率



ボランティア活動

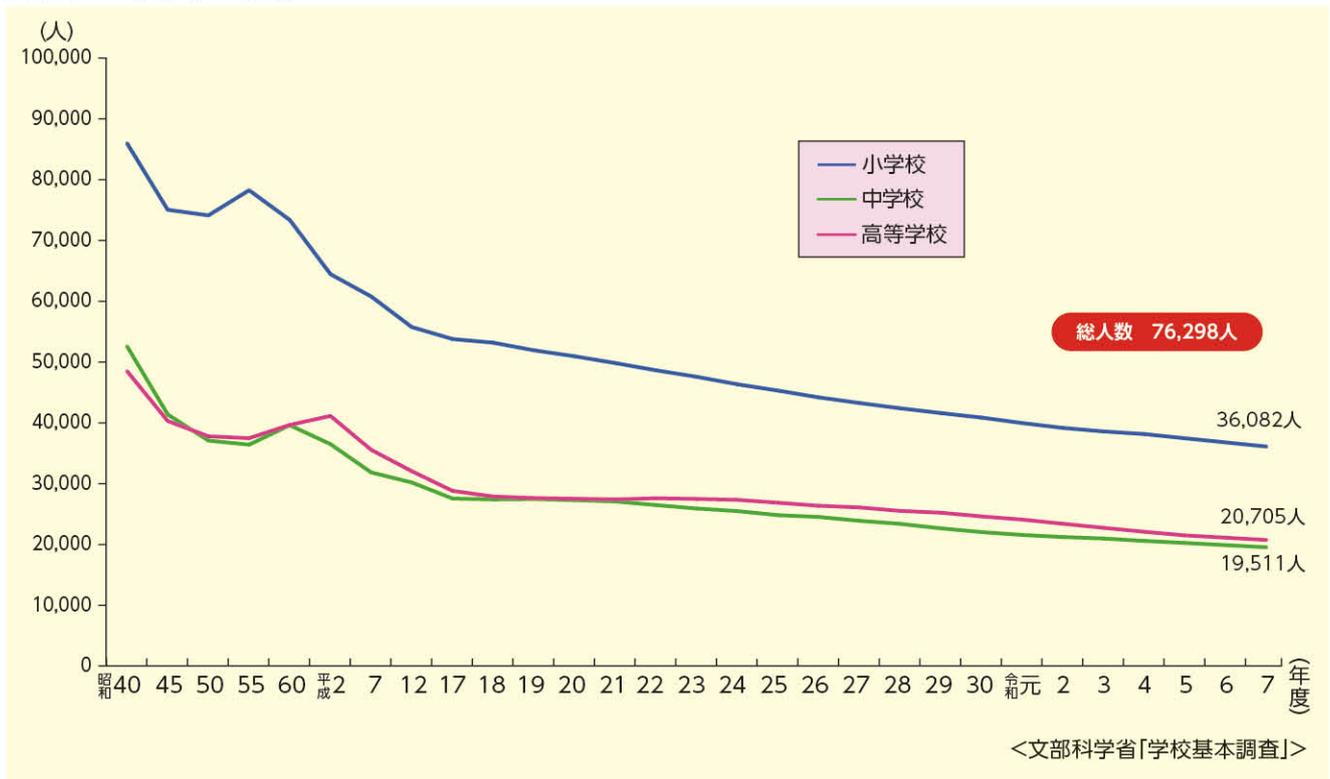


県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は仕事、家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時(平成28年)と比べると、男性の仕事に費やす時間は7分短く、女性の家事に費やす時間も11分短くなっています。

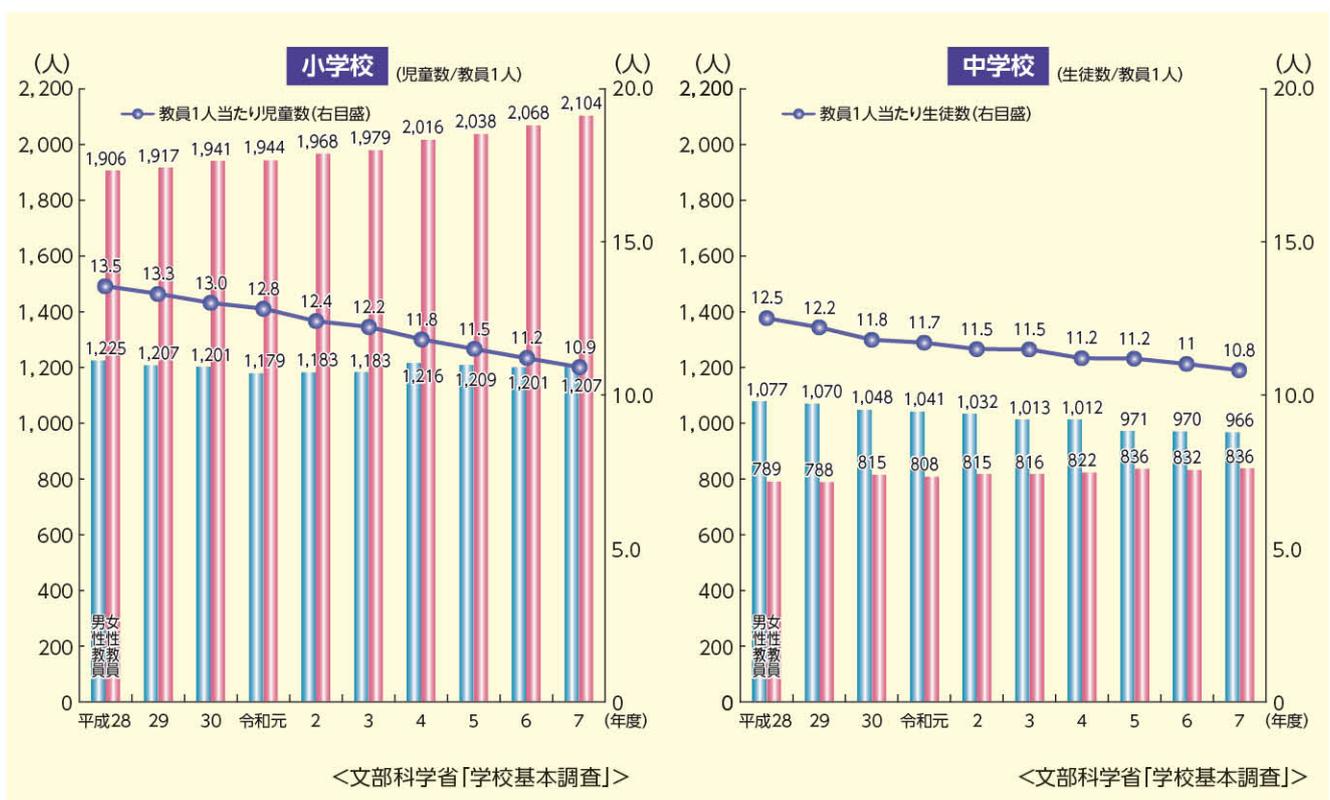
学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別でみると、前回(平成28年)調査より10~14歳で英語、パソコンなどの情報処理、25~34歳でパソコンなどの情報処理が伸びています。

ボランティア活動の行動者率は21.1%となっており、全国(17.8%)を上回っています。

児童・生徒数の推移(各年5月1日現在)

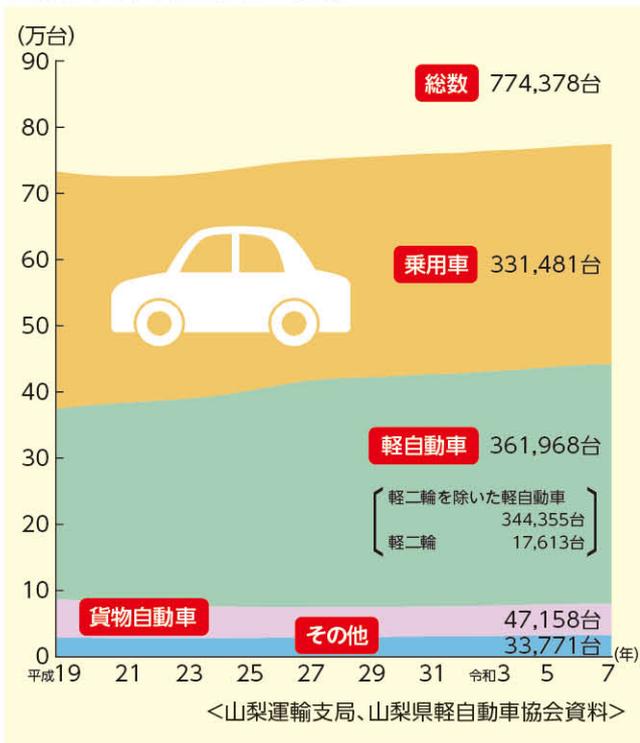


教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移

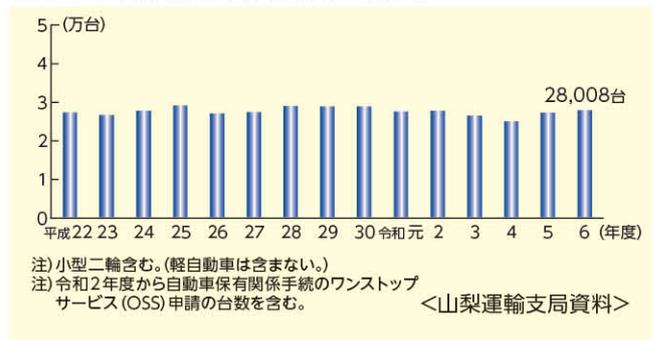


令和7年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生36,082人、中学生19,511人、高校生20,705人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で10.9人、中学校で10.8人となっています。

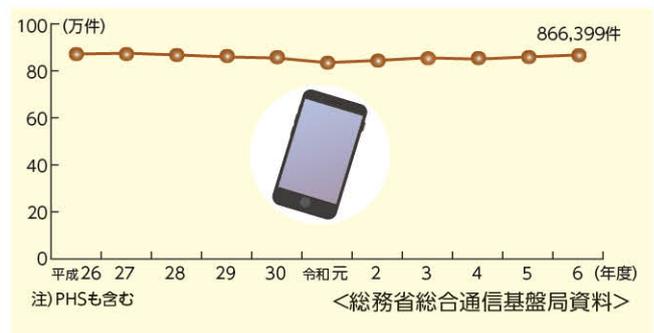
自動車保有台数の推移(各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移



携帯電話契約数の推移

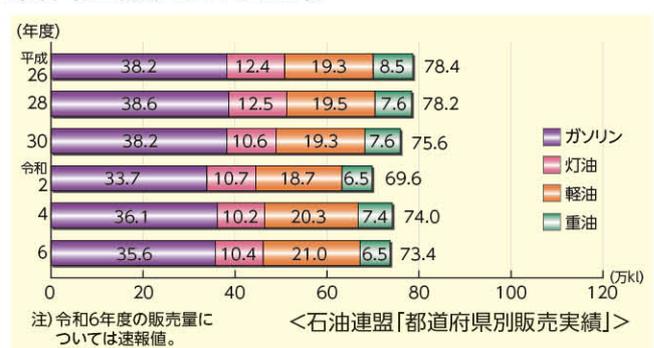


令和7年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、774,378台で、2年前に比べて5,266台増加しています。
令和7年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は866,399件で、前年に比べ9,143件増加しています。

低公害車保有台数の推移(各年3月末日現在)



燃料油販売量の推移

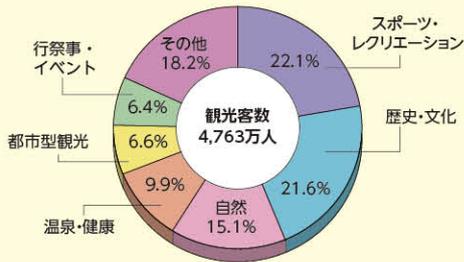


太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)



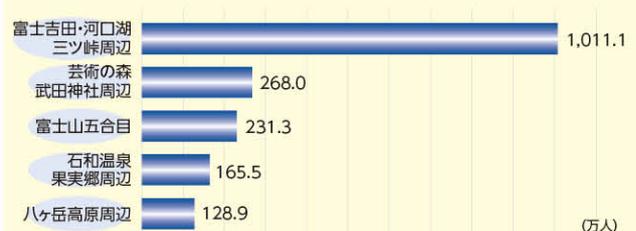
令和7年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドの合計※1が116,234台、電気・燃料電池・CNG・メタノールの合計※2が1,815台で、2年前に比べ※1は18,376台(18.8%)、※2は592台(48.4%)増加しています。
令和6年度の太陽光発電設備の稼働状況は790,143kWで、平成28年度に比べ291,518kW、約1.6倍に増加しています。

目的別観光客数(延べ人数)の割合



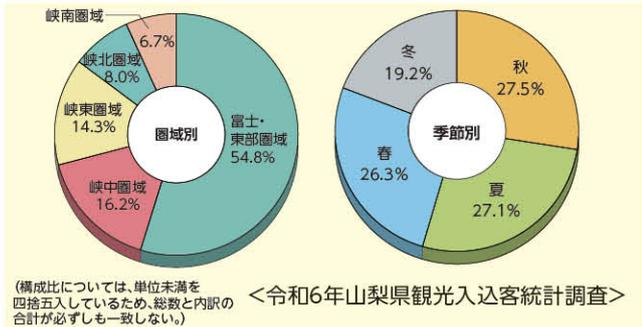
<令和6年山梨県観光入込客統計調査>

主な小圏域別観光客数(実人数)



<令和6年山梨県観光入込客統計調査>

観光客数(実人数)の割合(圏域別、季節別)



(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

<令和6年山梨県観光入込客統計調査>

観光客数(実人数)と観光消費額の推移



<山梨県観光入込客統計調査>

令和6年の本県の延べ観光客数は4,763万人で、目的別ではスポーツ・レクリエーションが最も多く、次いで歴史・文化となっています。
 令和6年に本県で最も多く観光客が訪れたのは、季節別では秋となり、圏域別では富士山や富士五湖を中心とする富士・東部圏域となっています。
 令和6年の観光消費総額は、4,865億円となっています。

旅券発行数の推移



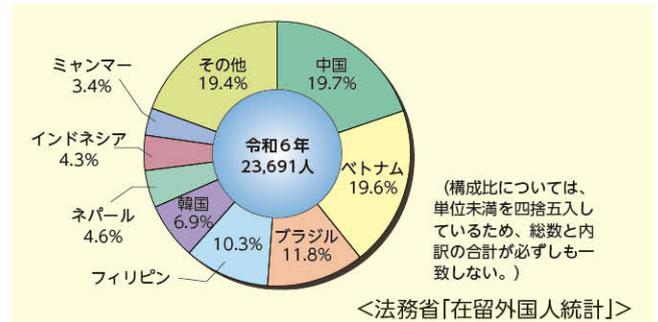
<山梨県パスポートセンター「旅券発給の概要」>

県内在留外国人(旧外国人登録者)の推移(各年12月末日現在)



<法務省「在留外国人統計(旧登録外国人統計)」>

国別在留外国人割合(令和6年12月末日)



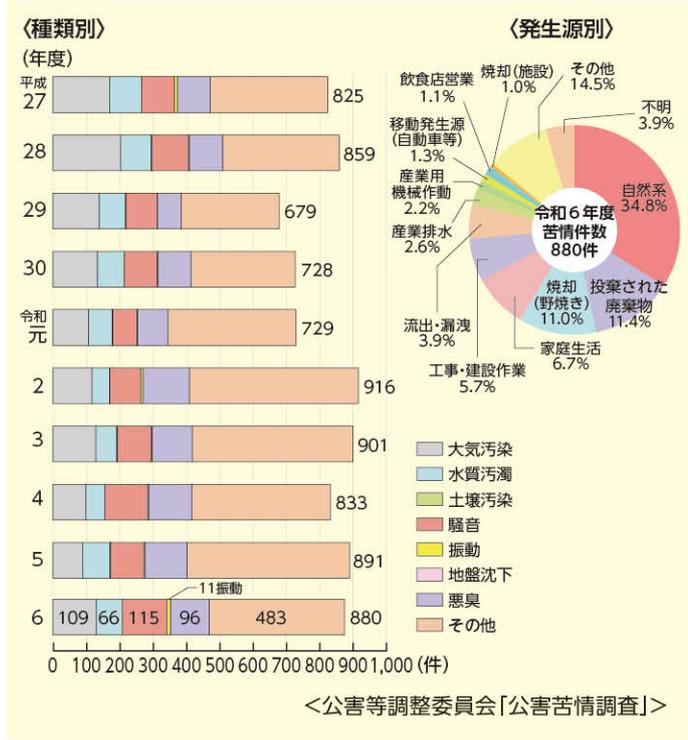
(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

<法務省「在留外国人統計」>

令和6年における旅券発行(者)数は18,858人で、前年に比べ1,983人(11.8%)増加しています。
 令和6年12月末日現在の県内の在留外国人数は23,691人で、国別にみると、中国が最も多く19.7%、次いでベトナム19.6%、ブラジル11.8%の順となっています。

居住環境

公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合

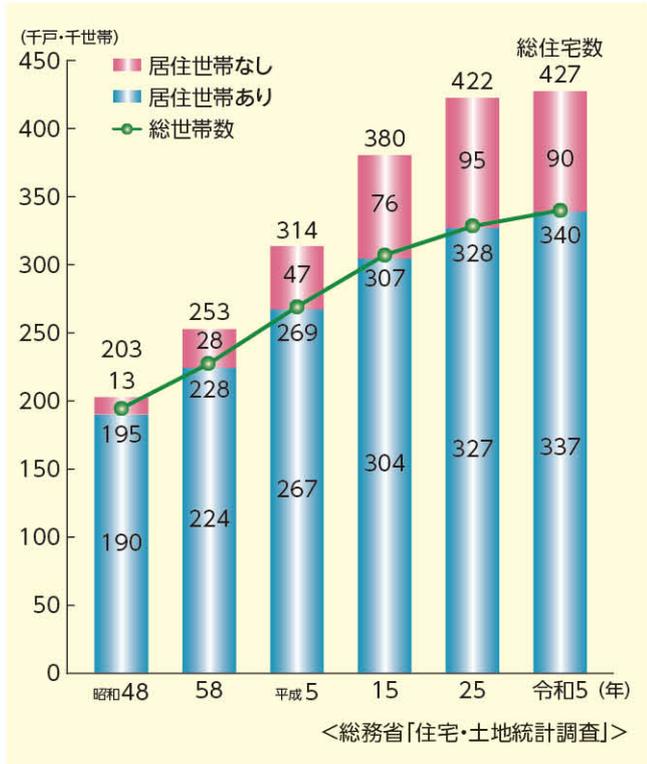


1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

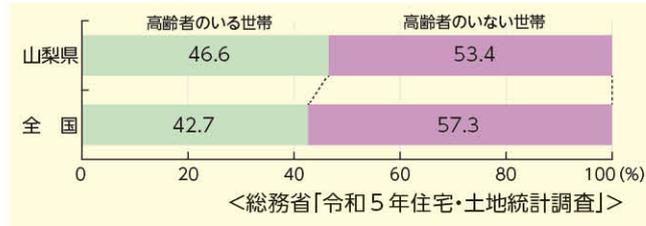


令和6年度の公害苦情件数は880件で、前年度に比べ11件減少しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の45.1%を占めており、その中では、騒音、大気汚染、悪臭、水質汚濁の順となっています。

居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



高齢者のいる世帯の割合

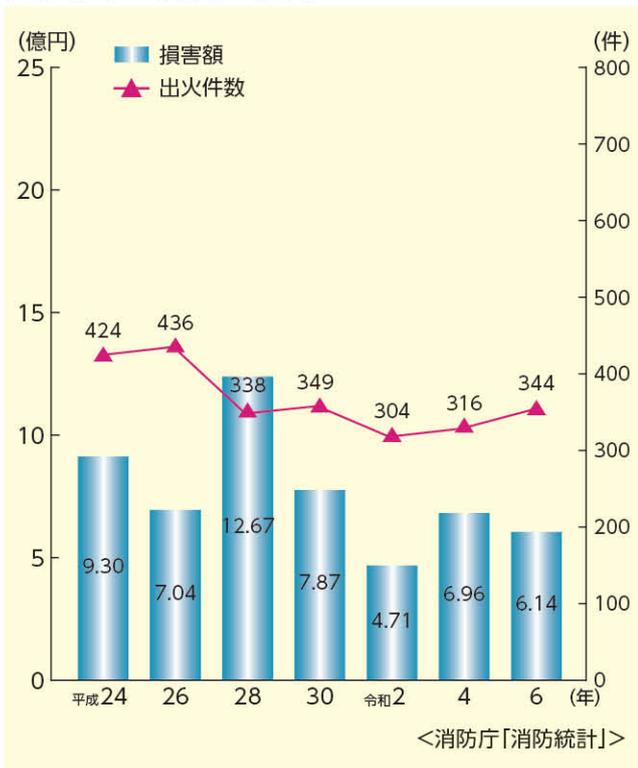


1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅)

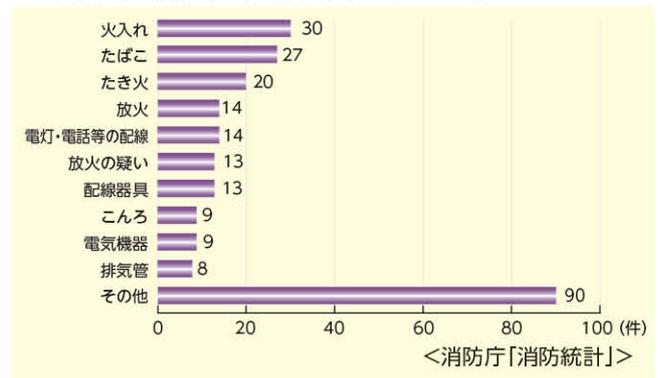


令和5年の居住世帯のある住宅数は33万7千戸、居住世帯のない住宅数は9万戸となっています。令和5年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると46.6%で、全国に比べて3.9ポイント高くなっています。令和5年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は107.8m²で、全国平均(90.86m²)より16.94m²多くなっており、全国順位第20位となっています。

火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位 (令和6年)

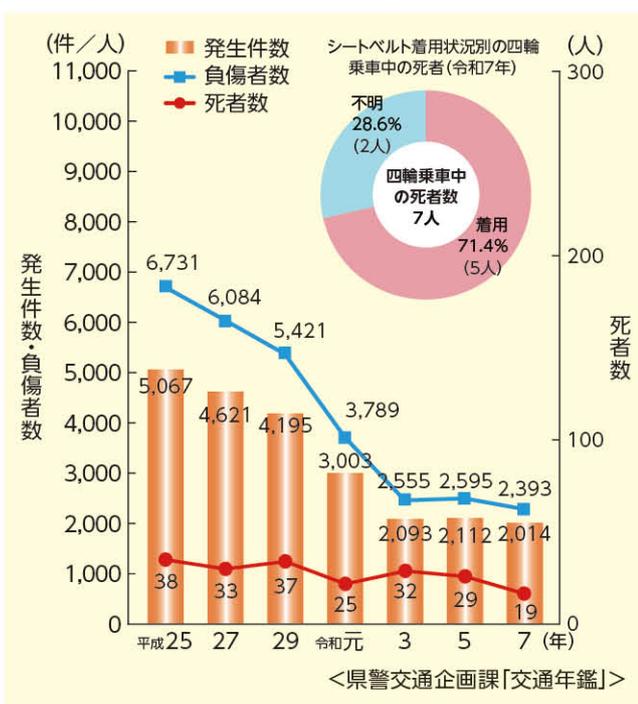


出火率・死者発生率の推移 (令和6年)

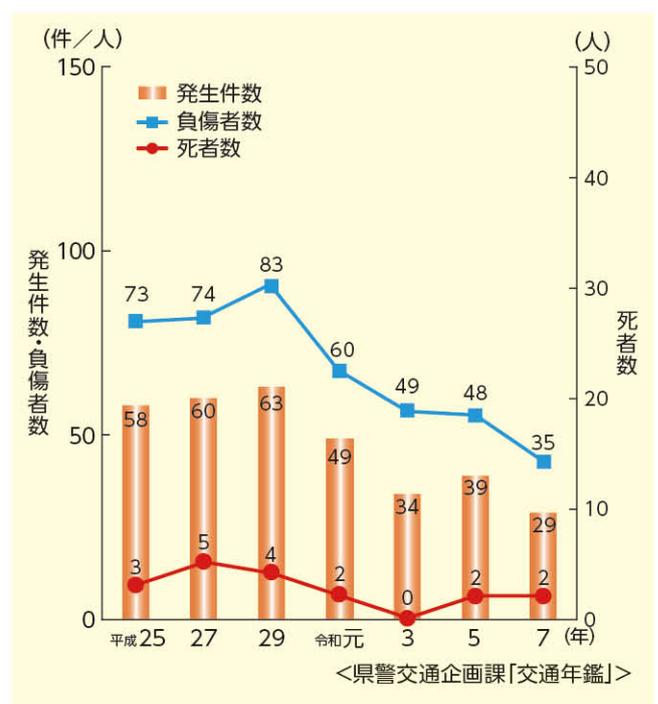


令和6年に発生した火災は344件で、2年前と比べると28件増加しています。損害額は、6億1,392万円で2年前より8,227万円減少しています。また、令和6年の出火率は前年に比べて4.27%に減少し、死者発生率は前年に比べて1.86%に増加しています。

交通事故発生件数等の推移



飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



令和7年の交通事故発生件数は2,014件で、2年前と比べると98件減少し、死者数は19人で、2年前と比べると10人減少しました。飲酒運転事故発生件数は29件で、2年前と比べると10件減少し、死者数は2人で、2年前と同数です。

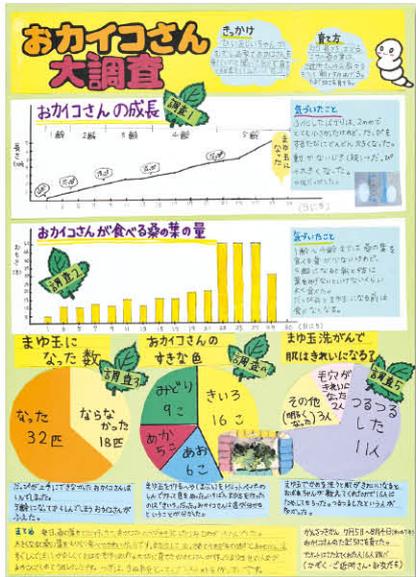
第73回(令和7年度)山梨県統計グラフコンクール

入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったことをグラフにして…
今年度も、たくさんのすばらしい作品が集まりました。

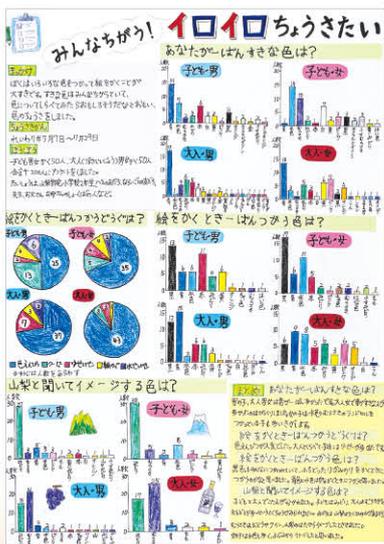
第1部(小学校1・2年生)

知事賞 山梨学院小学校 2年 **高野 結羽さん**



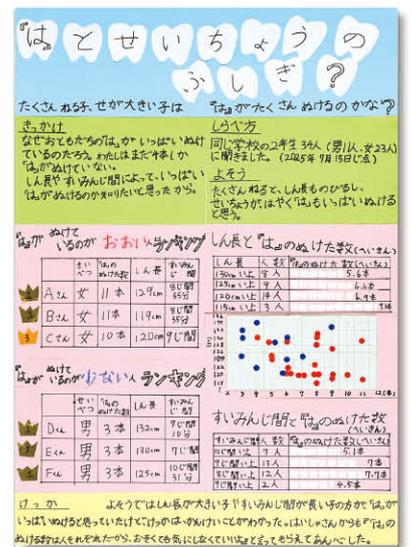
かいこの成長について、大きさや数、好きな色など
様々な視点で調べましたね。どのようなグラフが見やすいか
考えてまとめているところがすばらしいです。

教育長賞
山梨学院小学校 2年
弘津 智己さん

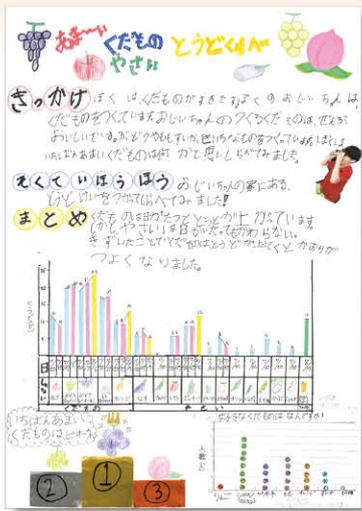


「は」が抜けたという自分の
経験から調査を考えてすばらしいです。
身長や睡眠時間との関係に目をつけて
まとめることができましたね。

教育長賞
山梨学院小学校 2年
塚本 紗英さん

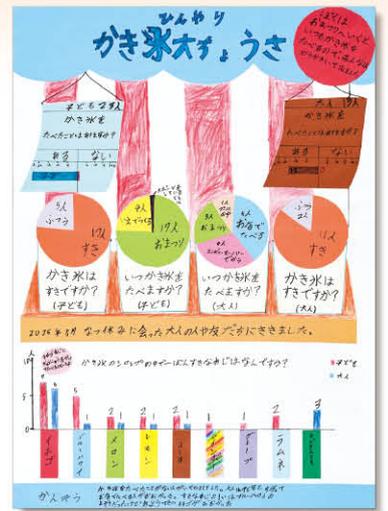


あたり前に見ている色に
注目したところがすばらしいです。
たくさんの人から調査したことを
グラフに見やすくまとめる
ことができましたね。

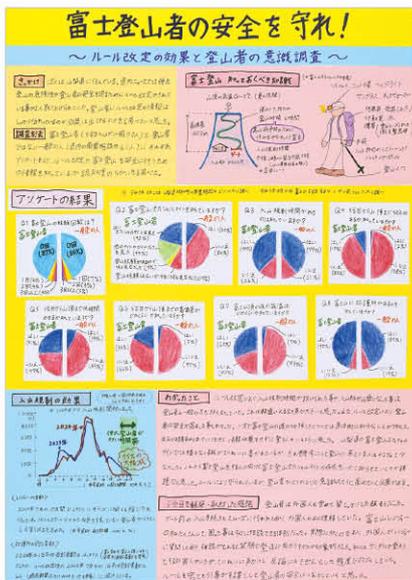


1日だけの調査ではなくて、糖度の変化がわかるように何日も調べているところが素晴らしいです。やさいとくだもの甘さを比べるところもいいですね。

暑くなるとかき氷が食べたくなりますね。かき氷について、大人と子供を比べてまとめていて見やすいです。屋台風のまとめかたもいいですね。



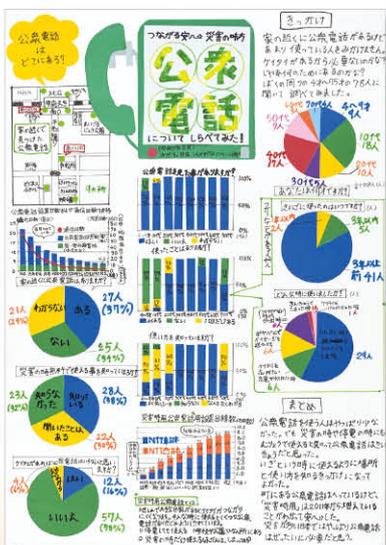
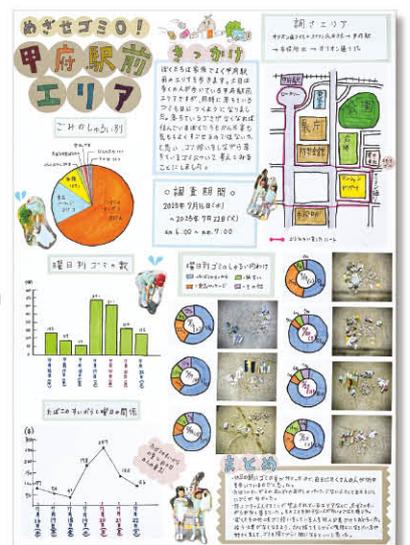
第2部 (小学校3・4年生)



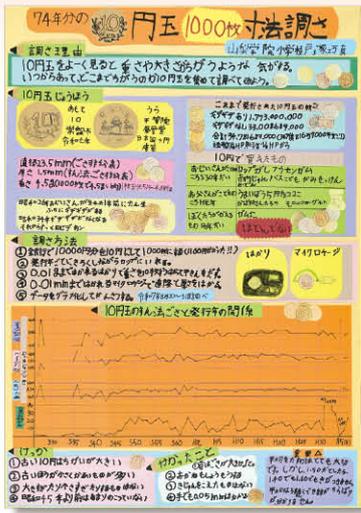
2つの場所で調査した結果を見やすくまとめることができました。富士山登山を安全に行うためのヒントがたくさん見つけれましたね。

教育長賞

朝早くから調査を頑張りましたね。ゴミの種類に注目して曜日とゴミの関係をまとめている点も素晴らしいです。

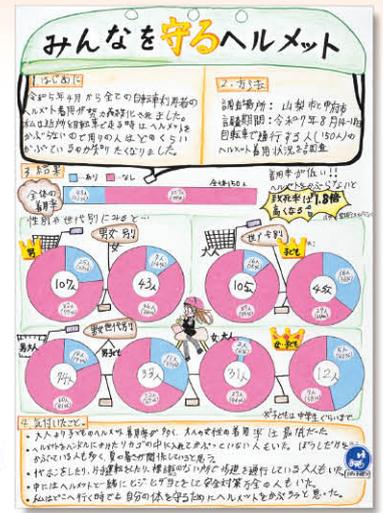


突然のトラブルや災害の時の連絡方法として公共電話は大切なものになりますね。使い方や場所などいつでもわかるようにしておくことが大切ですね。



調査の目的付け所が
すばらしい。10円玉1000枚を
調べるのは大変だったと思いますが、
その分たくさんの発見が
ありましたね。

円グラフを自転車の車輪に
見立てて示しているところがすばらしいです。
この作品を見た人たちのヘルメットへの
意識がより高まりますね。



第3部 (小学校5・6年生)



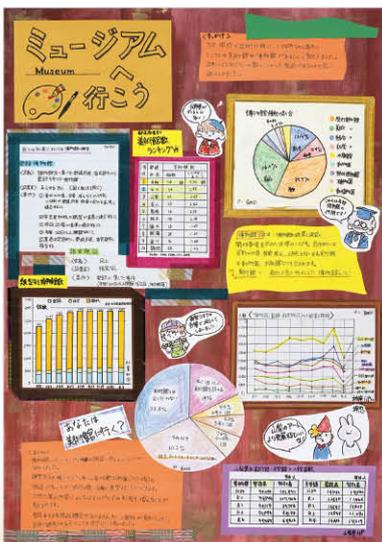
教育長賞 山梨学院小学校 6年 雨宮 楽さん



実際に甲府の街中を歩きながら
情報を集めているところがすばらしいです。
地図、写真、グラフを使ってとても
分かりやすい作品になっています。

第4部 (中学生)

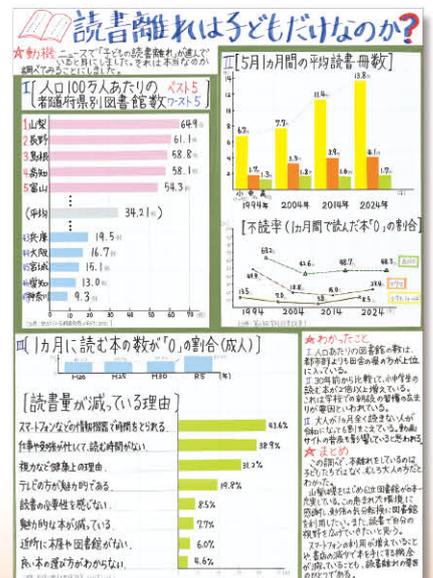
教育長賞 山梨学院中学校 1年 大坪 はす音さん



世間で言われている
「子供の読書離れ」に対して、
それは本当なのかと疑問をもち、
様々なデータから新たな事実を
見だしています。大人にこそ
見てほしい作品です。

ミュージアムという
キーワードを基に、様々な
角度からデータを集め、工夫して
まとめています。全体の落ち着いた
色合いと、ポップなイラストが
見る人の関心を引きまします。

知事賞 駿台甲府中学校 1年 小野 茉里奈さん



第4部 (中学生)

入選

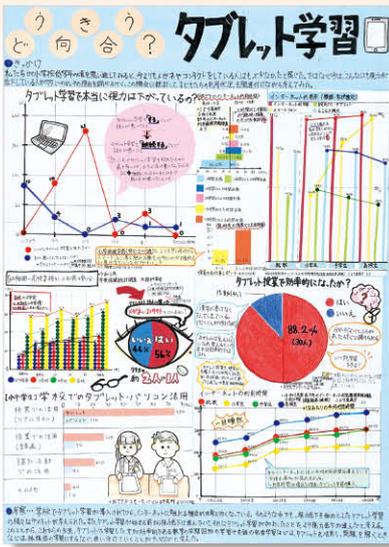
山梨学院中学校 2年
鈴木 悠誠さん



教育長賞

国立大学法人
山梨大学教育学部附属中学校 3年

足達 璃子さん
石丸 菜々美さん
大森 優里さん
下倉 美夢さん



タブレット学習という
現代らしいテーマを取り上げ、
視力への影響や学習効果をグラフで
分かりやすくまとめた作品です。
「知ってほしい!」という強い
思いが感じられます。

献血に関わる、たくさんの
データを集めてまとめています。
様々な種類のグラフや詳細な説明文を
見ると、時間をかけて丁寧に作成
したことが伝わってきます。



入選

山梨学院中学校 2年
山内 ひかりさん

中学生の家庭学習の
実態を明らかにした作品です。
保護者に聞いた調査データも
含まれており、その近くに描かれている
「バレてましたか…」のイラストが
とてもユニークです。

身近なところから疑問を
見だし、丁寧な計画から結論まで
至っているところがすばらしいです。
調査から自分の生活改善に
つなげる視点も良いです。

第5部 (小・中学生のPCの作品)

知事賞

駿台甲府中学校 1年 渥美 あいさん



教育長賞

山梨学院中学校 1年
白須 楓さん

日本人の食生活に対する意識を
広げてくれるとても良い作品です。
デジタルを活用してデータを
分かりやすく整理している
ところがすばらしいです。



第5部 (小・中学生のPCの作品)

教育長賞 山梨学院中学校 2年 荒神 榛那さん

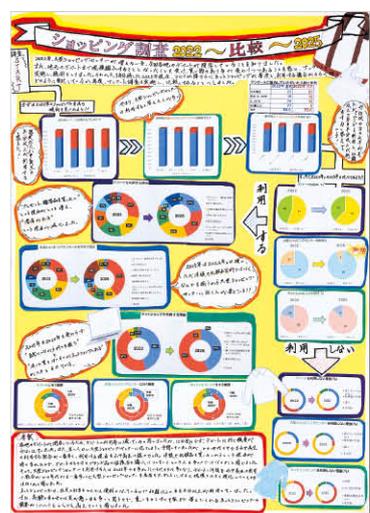


救急車の現状について調べることで、救急車についての理解を広げるよい資料となっています。グラフと文章の配置を工夫しているところもすばらしいです。

入選 山梨学院中学校 2年 橋本 光司さん



入選 山梨学院中学校 1年 飯干 愛望さん



複数年にわたってアンケート調査をしているところがすばらしいです。そこから分かったことを順序だてて示すことでとても分かりやすい作品になっています。

年度別、月別、時間別に焦点を当てて調査し、まとめているところがすばらしいです。クマに対する理解を深めるとてもよい作品です。

第6部 (高等学校以上の生徒・学生及び一般)

教育長賞 甲府市立甲府商業高等学校 3年 亀谷 来夢さん



AIが生活の中に浸透していることがよく伝わる作品で、どのようにAIと向き合うべきかを考えさせられます。データを共有してくれた先生にも感謝したいですね。

睡眠と夢の関係について、様々な視点から調べてまとめています。フォントや色合いにもこだわりをもち、デジタルならではの見やすさが光る作品です。

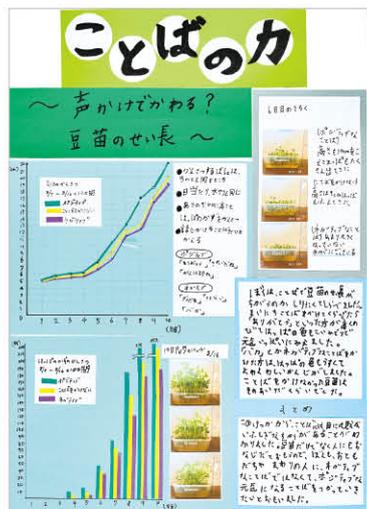
教育長賞

山梨県立かえで支援学校 高等部 3年 堀内 一斗さん 長田 拓海さん 大澤 亜揮仁さん



各部門佳作

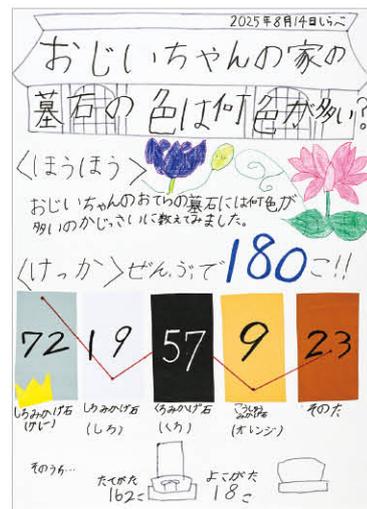
第1部 山梨学院小学校 2年
石坂 凰賀さん



第1部 山梨学院小学校 2年
角田 聖樹さん



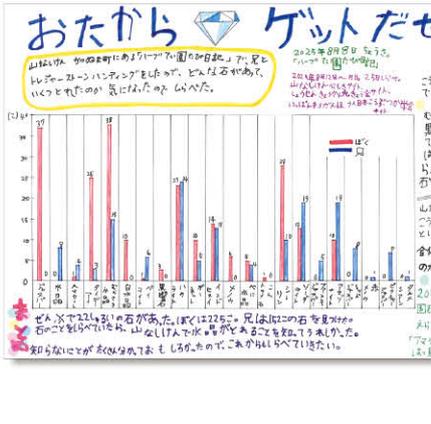
第1部 山梨学院小学校 2年
安孫子 凜さん



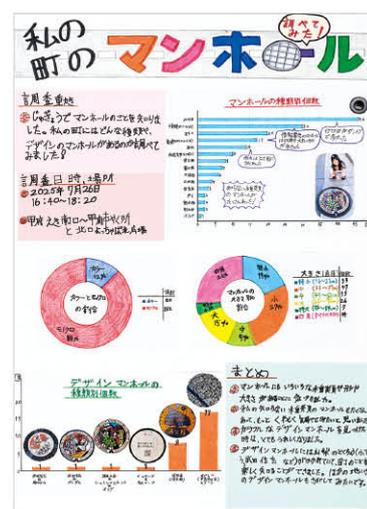
第1部 山梨学院小学校 2年
小野 柚鈴さん



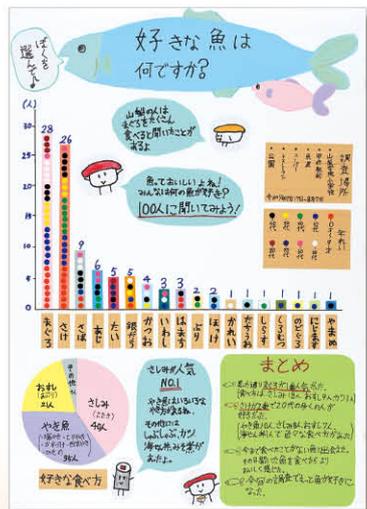
第1部 山梨学院小学校 2年
田中 優詩さん



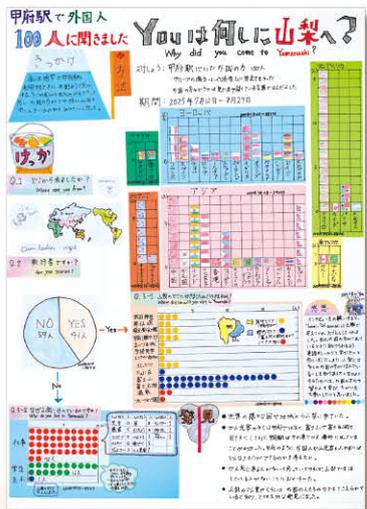
第2部 山梨学院小学校 3年
五十嵐 由宇さん



第2部 山梨学院小学校 3年
和泉 文哉さん



第2部 山梨学院小学校 3年
西崎 紬宜さん



第2部 山梨学院小学校 4年
相山 拓澄さん



各部門佳作

第2部 山梨学院小学校 4年 鷹野 光凜さん



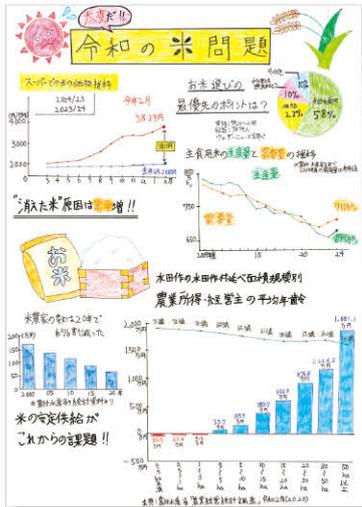
第2部 山梨学院小学校 4年 長安 紀京さん



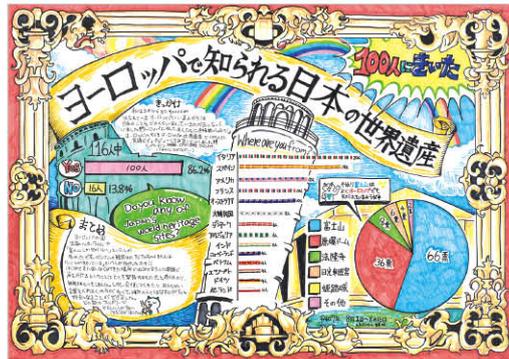
第4部 山梨学院中学校 1年 曹 千恵さん



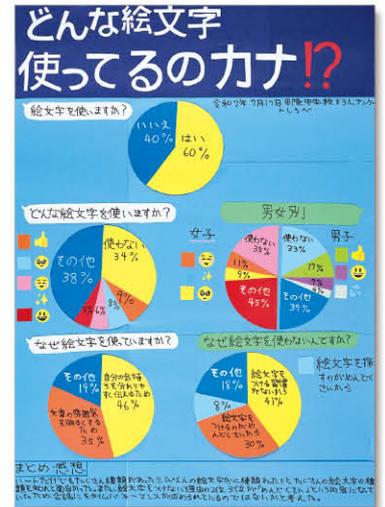
第4部 山梨学院中学校 2年 嵐 昊太さん



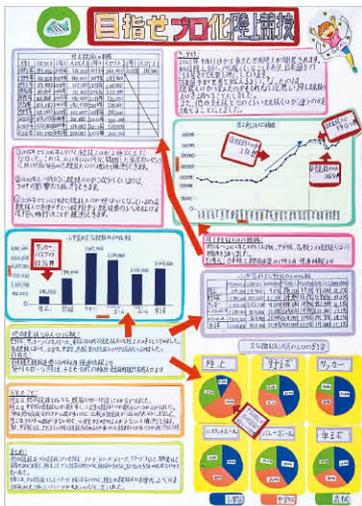
第4部 山梨学院中学校 3年 大代 花凜さん



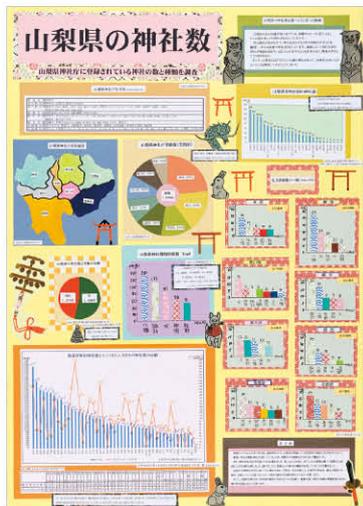
第4部 北杜市立甲陵中学校 2年 小俣 渚さん



第4部 駿台甲府中学校 1年 長田 陸叶さん



第5部 中央市立玉穂中学校 1年 薬袋 友璃奈さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で73回目となりました。今回は709点の応募がありました。この作品集には、各部門の知事賞4点、教育長賞11点、入選8点、佳作17点の計40点を掲載してあります。

統計グラフ コンクール にチャレンジしてみよう!!



みなさんがつくった統計グラフを募集します。あなたが調べて感じたことを、統計グラフにまとめてみませんか？
県内在住・在学・在勤で小学生以上の方ならどなたでも応募できます。
入賞作品を集めた展示会も開催します。入賞作品のうち優秀な作品については、全国コンクールへ出品します。
応募者全員に参加賞をお贈りします。ふるってご応募ください!!

統計グラフの作成手順 ▶▶▶

01 (テーマ) 主題を決めよう

自分が調べたいことを決めます。



02 資料を集めよう

主題(テーマ)にあった資料(数値)を収集します。



03 グラフを決めよう

データや自分が伝えたい内容に応じて、使用するグラフを決定します。



04 仕上げ

単位や目盛りに注意しながら、グラフを仕上げます。



応募上の留意点 ▶▶▶

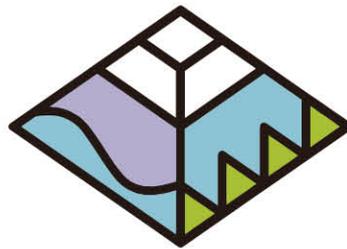
- 作品の大きさはB2判(72.8cm×51.5cm)
- 作品は、自分で考えてつくったものに限ります。
- テーマは自由です。ただし、小学校4年生以下の児童については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしてください。
- 5人以内なら合作でもかまいません。
- ゆるキャラや五輪マークなど、ほかの人が作成したイラストや写真を使用しないでください。
- 取材資料の出所をグラフの表面に明記してください。
- 使用した統計資料の時点を作品に明記してください。
- 例年6月に作品募集開始になります。
詳しい応募要領は、6月以降に、下記「山梨県統計調査課」ホームページを確認のうえ、ご応募ください。

完成



過去の入賞作品や応募方法については、山梨県統計調査課HPをご覧ください。
自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらおうチャンスです。ふるってご応募ください。

「山梨県統計調査課」ホームページ <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>



YAMANASHI

「統計からみたやまなしー令和7年度ー」

令和8年3月発行

山梨県新価値・地域創造推進局統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎ 055(223)1340

URL <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>